

平成21年4月30日

会員各位

社団法人日本人材派遣協会  
会長 鎌田 和彦  
派遣労働者支援委員会  
委員長 桑原 加鶴子

## 派遣スタッフWebアンケート - 1万人調査 - (調査結果の概要)

派遣労働者支援委員会において、派遣スタッフを対象にアンケートを行い、派遣で働く人達の就業条件、満足度や希望する働き方等の実情の調査を昨年引き続き実施いたしました。

派遣で働く人達の派遣就労の実態や意識について、派遣スタッフから直接収集し、経年変化を見ることにより、協会の諸活動の貴重なバックデータとします。調査結果については、派遣業界の実態を理解していただき、派遣に対する認識を高めていただくために、社会一般にWEBにて公表していきます。その上で、派遣スタッフの社会的地位の向上や派遣業界の今後の課題等について、具体的に検討し、効果的な事業に関して業界全体で取り組んでいきます。

この度、その結果がまとまりましたので、以下ご報告いたします。

報告の中で、「事務・販売系」、「製造・軽作業系」と表記していますが、17ページのQ3「現在(または直近)の業務」で分類したカテゴリーで「製造・軽作業系」だけを取り出したものを「製造・軽作業系」とし、それ以外を「事務・販売系」と表現いたしました。

### アンケート調査実施要領

1. 実施期間：平成20年9月1日(月)～10月10日(金)
2. 協力依頼：当協会会員(合計804社9月1日時点)
3. 調査対象：現在、派遣で働いている方及び派遣で働いた経験のある方
4. 告知方法：会員から派遣スタッフへ、協会HP上、はけんけんぼメルマガ
5. 実施方法：協会HP上のアンケートページから直接入力し、Web送信により回答
6. 回収総数：14,643
7. 有効回答：13,936 (95.2%)

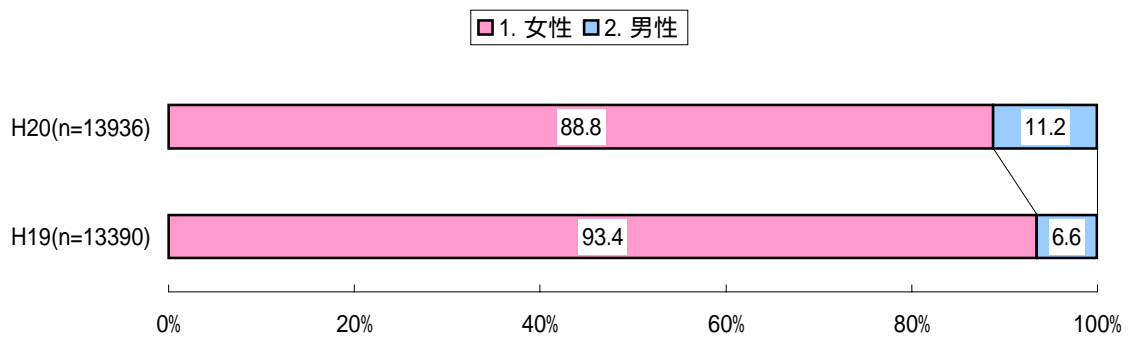
平成21年4月

社団法人 日本人材派遣協会

## Q. 1 あなたご自身について

### (1) 性別

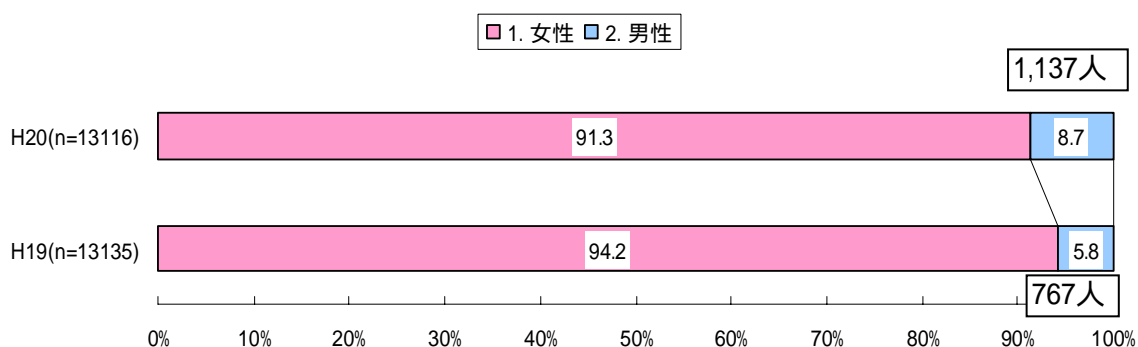
回答者の性別は、「女性」が88.8%と大多数を占め、「男性」が11.2%である。  
前回と比べて、男性の割合が増えている。



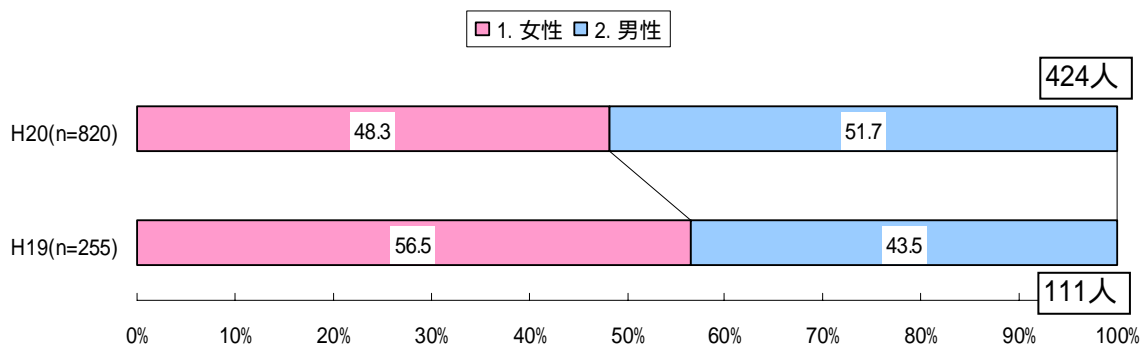
性別を各年度で「事務・販売系」と「製造・軽作業系」で分けたところ、男性の割合が「事務・販売系」（5.8% 8.7%[2.9%増]）、「製造・軽作業系」（43.5% 51.7%[8.2%増]）とどちらとも増加傾向という結果となった。

「製造・軽作業系」は母数が少ないが、増加人数は「事務・販売系」とほぼ変わらず平成20年度の男性増加の要因になっていることがうかがえる。

### 事務・販売系（性別）



### 製造・軽作業系（性別）

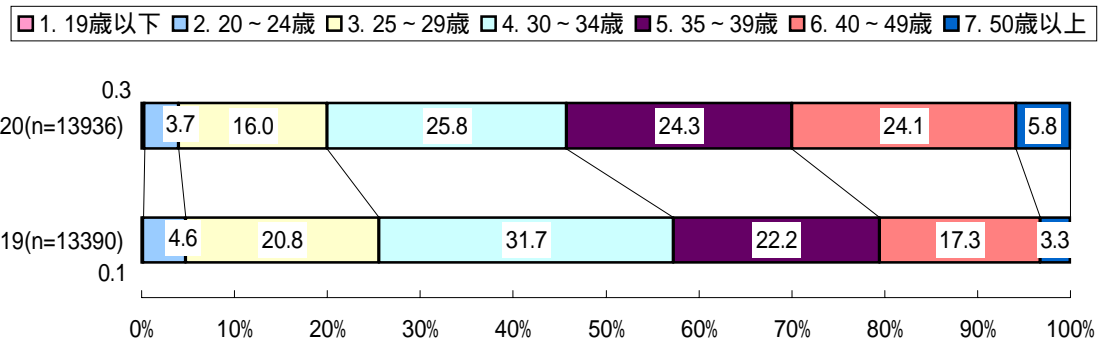


(2) 年齢

年齢構成は、「24歳以下」(4.0%)、「25～29歳」(16.0%)、「30～34歳」(25.8%)、「35～39歳」(24.3%)、「40歳以上」(29.9%)である。

全体として、「30～34歳」が多いが、「35歳以上」で全体の54.3%を占めているため、平均は36.3歳である。  
 前回の平均は34.5歳である。

性別で見ると、女性は「30～34歳」の占める割合が高い。男性は「40～49歳」の占める割合が高く、「50歳以上」の占める割合は女性と比べても高い。

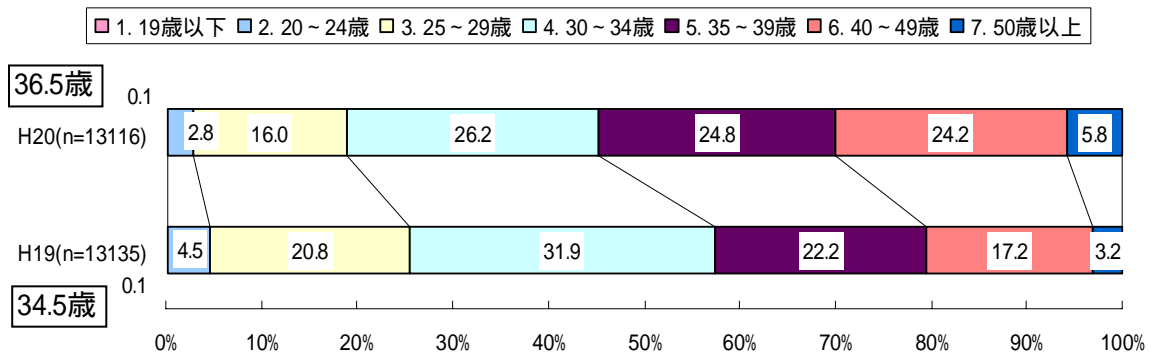


	調査数 (n)	全 体	1 9 歳 以 下	2 0 ～ 2 4 歳	2 5 ～ 2 9 歳	3 0 ～ 3 4 歳	3 5 ～ 3 9 歳	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 歳 以 上
全体	13,936	100.0	0.3	3.7	16.0	25.8	24.3	24.1	5.8
女性	12,375	100.0	0.2	3.3	16.2	26.5	25.3	24.2	4.3
男性	1,561	100.0	0.7	7.2	14.3	19.9	16.0	23.8	18.1

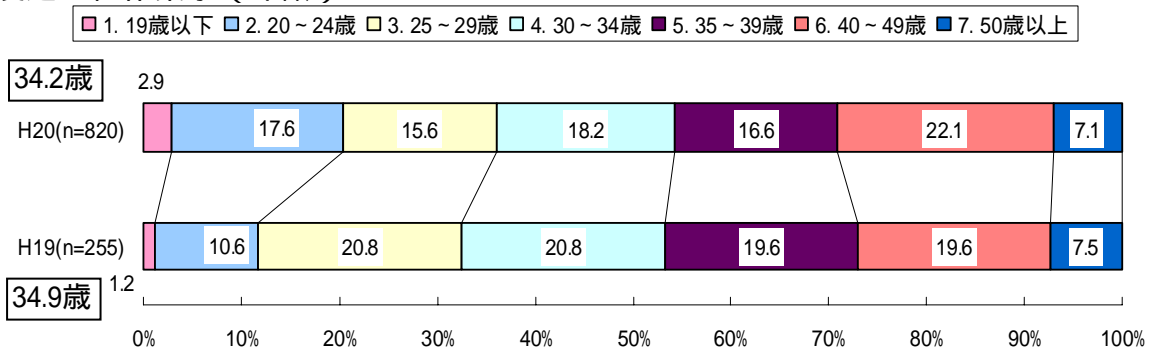
年齢を各年度で「事務・販売系」と「製造・軽作業系」で分けたところ、「事務・販売系」では中高年齢層（35歳以上）、「製造・軽作業系」では若年層（24歳以下）が増加している。そのため平均年齢は、「事務・販売系」（34.5歳→36.5歳）、「製造・軽作業系」（34.9歳→34.2歳）で、「製造・軽作業系」では逆に平均年齢が下がっている結果となった。しかし、「製造・軽作業系」は「事務・販売系」より母数が少なく、全体としての平均年齢が上昇したと考えられる。

また、平成20年度「事務・販売系」の「35歳以上」の中で「40～49歳」が7.0%増となっていることから、この層を業務別で見ると、5号事務機器操作（16.1%→22.9%[6.8%増]）、7号秘書（13.3%→23.1%[9.8%増]）、10号財務処理（21.3%→30.2%）[8.9%増]、16号受付・案内、駐車場管理等（13.8%→24.6%[10.8%増]）、24号（27.2%→35.5%[8.3%増]）、営業販売（13.0%→24.7%[11.7%増]）となっており、年齢上昇の一要因となっていることも考えられる。

### 事務・販売系（年齢）



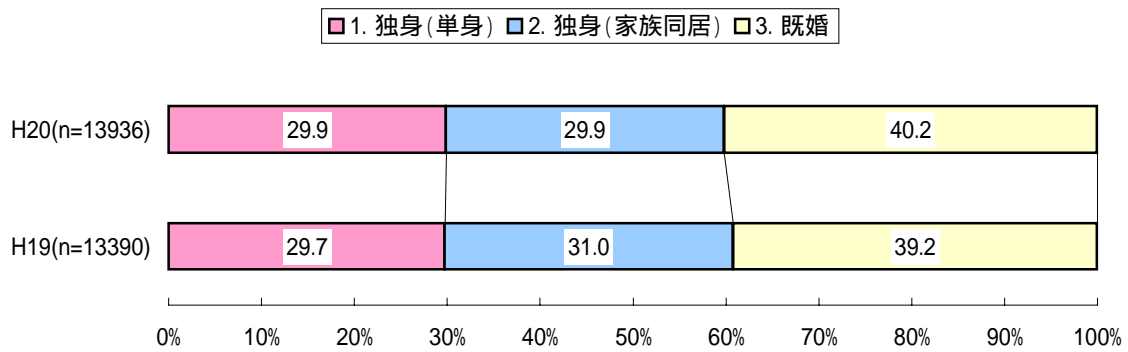
### 製造・軽作業系（年齢）



事務・販売系  業務の種類	平成20年度		平成19年度	
	全体	40 \49才	全体	40 \49才
	13,116	3,179	13,135	2,263
	100.0	24.2	100.0	17.2
【5号】 OA事務、英文事務、PCオペレーター、 データエントリー、金融事務、 ネットワーク構築、WEB作成	100.0	22.9	100.0	16.1
【7号】 秘書	100.0	23.1	100.0	13.3
【10号】 財務処理	100.0	30.2	100.0	21.3
【16号】 受付・案内、駐車場管理等	100.0	24.6	100.0	13.8
【24号】 テレマーケティングの営業、 オンライン取引コールセンター業務	100.0	35.5	100.0	27.2
【営業・販売・その他】 営業、販売、接客販売、接客、 加入促進、その他営業・販売業務	100.0	24.7	100.0	13.0

### (3) 家族

家族構成は、単身と家族同居を合わせた「独身」が59.8%、「既婚」が40.2%である。  
「独身」の場合、単身と家族同居が半数ずつとなっている。  
前回と比べてほぼ変わらない。

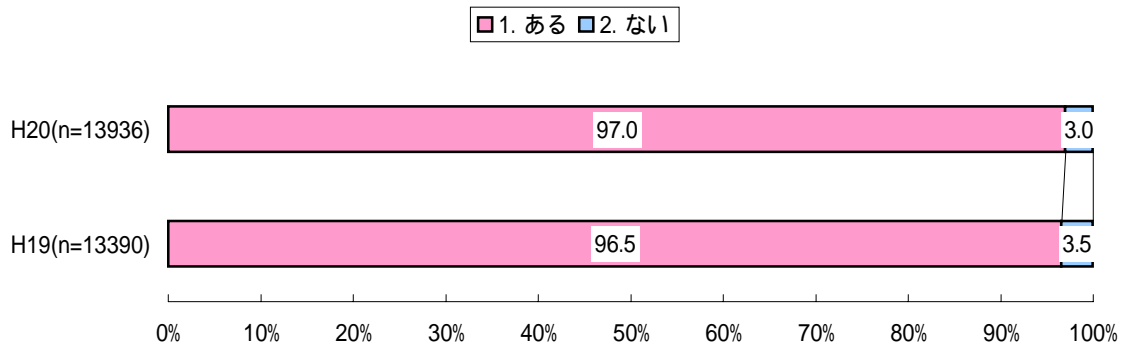


## Q. 2 就業経験・状況

< 今までの就業経験についてお聞きします >

(1) 今まで派遣以外で働いたことがありますか？

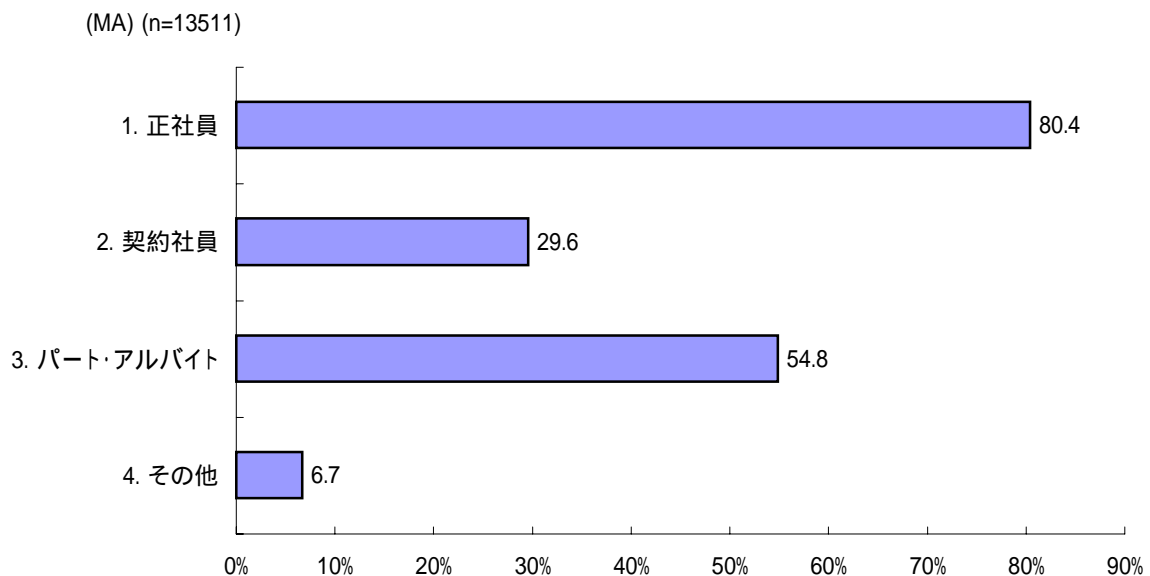
今までの就業経験は、「今まで派遣以外で働いたことがある」が97.0%と圧倒的多数を占め、「今まで派遣以外で働いたことはない」が3.0%である。前回と比べてほぼ変わらない。



(1) で 1 を選択した方のみお答えください。

(1) - a : それはどのような働き方でしたか？ (複数回答可)

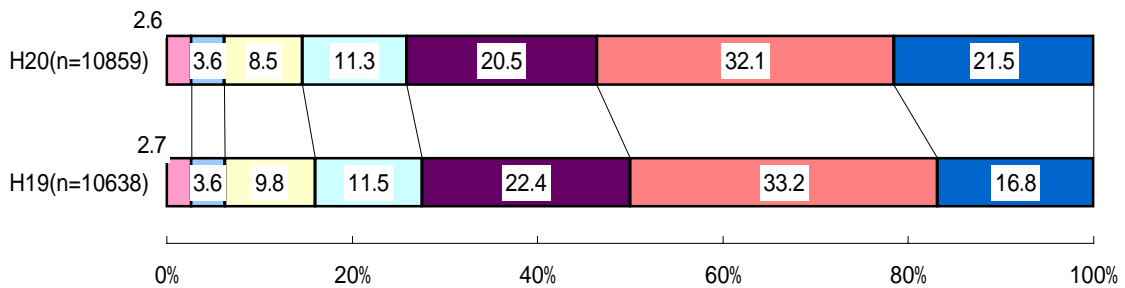
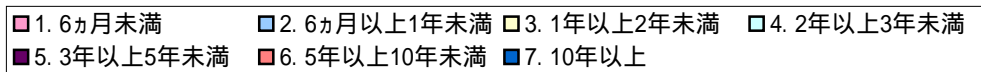
「今まで派遣以外で働いたことがある」との回答者に、どのような働き方であったか尋ねた結果、「正社員」が80.4%に上り、常用雇用から派遣就労の形態に移動したことがうかがえる。次に「パート・アルバイト」(54.8%)、続いて「契約社員」(29.6%)である。





(1) - a - a : 正社員で働いた期間は通算してどのくらいですか？

「今まで正社員で働いたことがある」との回答者に、正社員で働いた期間は通算してどのくらいか尋ねた結果、「5年以上10年未満」が最も多く32.1%で、次に「10年以上」(21.5%)、続いて「3年以上5年未満」(20.5%)、「2年以上3年未満」(11.3%)である。正社員で働いた期間が2年以上である人は85.4%を占める。  
前回と比べて、「10年以上」が増加しているが、中高年齢層の増加に比例したものと推測できる。

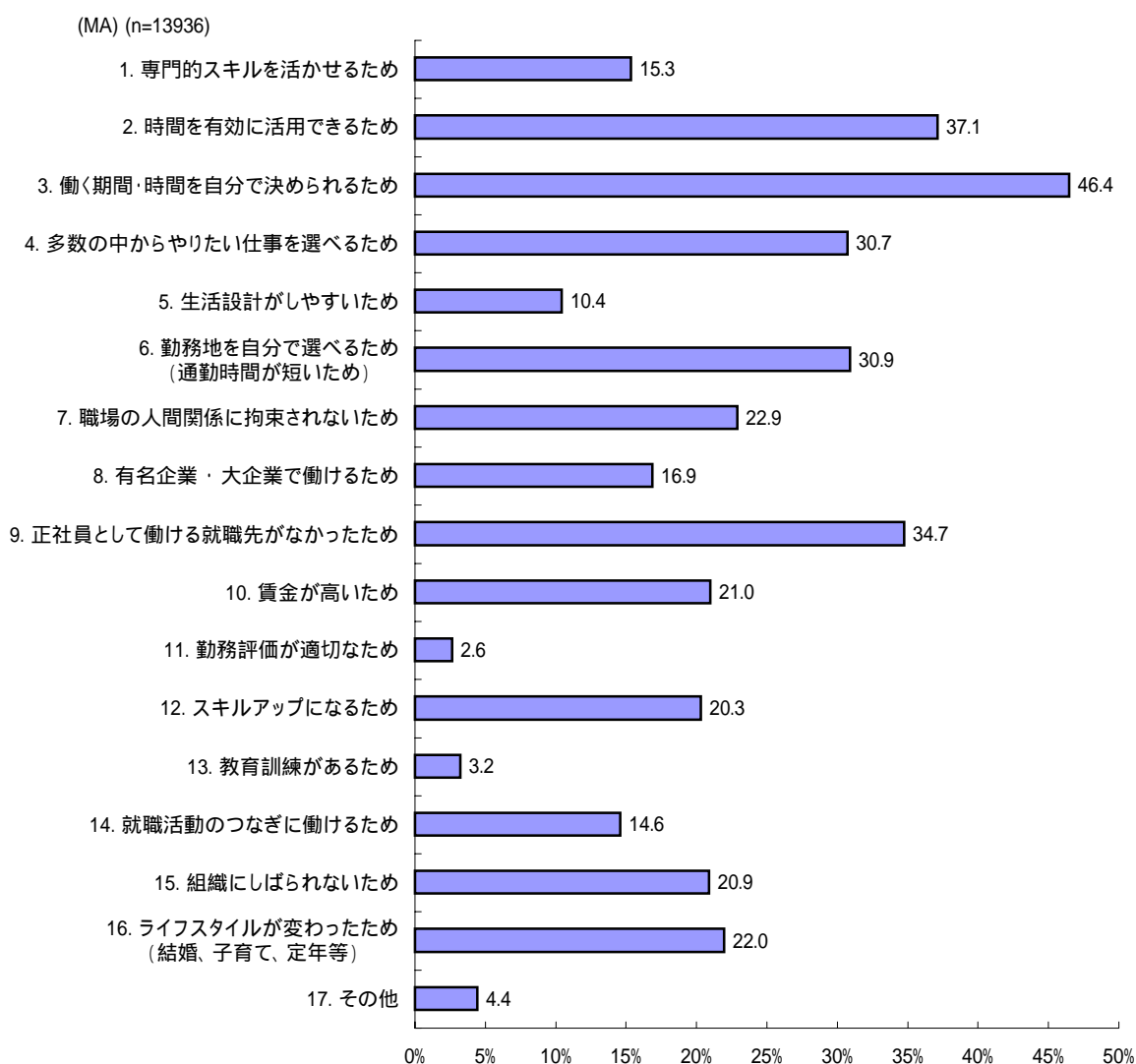


< 今までの派遣就業経験についてお聞きします >

(2) 派遣を選んだ理由をお答えください。(複数回答可)

派遣を選んだ理由(複数回答)をみると、「働く期間・時間を自分で決められるため」(46.4%)と「時間を有効に活用できるため」(37.1%)が最も多く、続いて「正社員として働ける就職先がなかったため」(34.7%)、「勤務地を自分で選べるため(通勤時間が短いため)」(30.9%)、「多数の中からやりたい仕事を選べるため」(30.7%)となる。派遣就労は、正社員希望の場合を除いて「選択肢の多様性」「自由度や柔軟性」という点で評価されていることがうかがえる。また、「職場の人間関係に拘束されないため」(22.9%)や「組織にしばられないため」(20.9%)も、ストレスや責任等が(正社員より)軽減されることをメリットとして選択していることがうかがえる。

性別と年齢別にみると、女性では、年齢層に関係なく「働く期間・時間を自分で決められるため」を理由とするのが一番多く、男性では、30歳以上になると「正社員として働ける就職先がなかったため」を理由とする率が高くなる。また、「ライフスタイルが変わったため」は、女性は年齢につれて割合が上昇していくが、男性は50歳以上の層で割合が急に高くなっているのが特徴である。



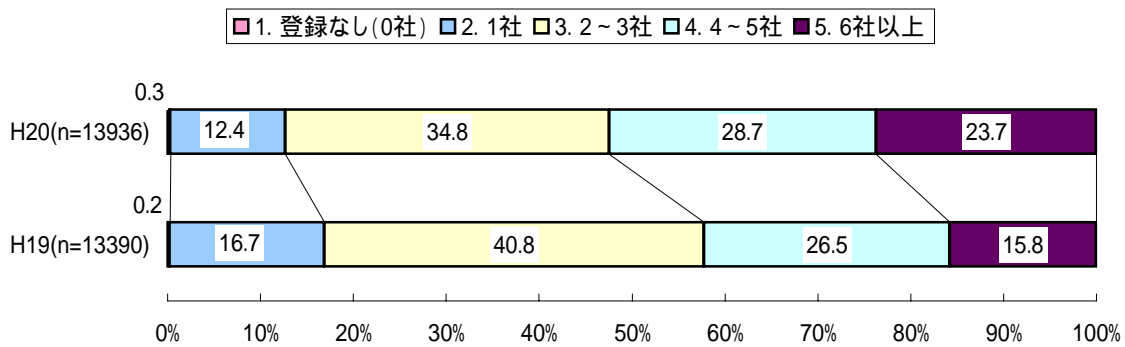
		調査数 (n)	全体	専門的スキルを活かせるため	時間を有効に活用できるため	働く期間・時間を自分で決められるため	多数の中からやりがい仕事を選べるため	生活設計がしやすいため	短いため(通勤時間が短い)	勤務地を自分で選べる	束縛されないため	職場の人間関係に拘
全体		13,936	100.0	15.3	37.1	46.4	30.7	10.4	30.9	22.9		
女性全体		12,375	100.0	14.8	37.2	47.7	31.7	10.6	32.5	24.0		
男性全体		1,561	100.0	19.5	36.3	36.3	22.6	8.9	17.8	14.3		
女性	19歳以下	28	100.0	-	64.3	82.1	32.1	14.3	25.0	14.3		
(年齢別)	20～24歳	404	100.0	6.9	50.7	56.7	34.4	8.2	27.0	24.8		
	25～29歳	2,006	100.0	11.9	43.3	49.1	36.5	12.1	32.5	22.5		
	30～34歳	3,279	100.0	14.1	37.1	48.2	35.1	11.4	34.1	24.5		
	35～39歳	3,137	100.0	15.7	33.4	46.4	31.4	10.0	33.7	25.1		
	40～49歳	2,989	100.0	17.3	35.1	46.1	26.2	9.7	31.5	24.4		
	50歳以上	532	100.0	18.2	37.4	48.5	24.2	11.1	27.3	17.7		
男性	19歳以下	11	100.0	9.1	54.5	63.6	18.2	-	9.1	18.2		
(年齢別)	20～24歳	113	100.0	9.7	52.2	62.8	25.7	12.4	19.5	10.6		
	25～29歳	224	100.0	15.6	42.4	39.3	25.0	7.1	16.5	13.8		
	30～34歳	310	100.0	20.0	34.5	41.0	26.8	10.3	17.4	13.5		
	35～39歳	250	100.0	17.2	38.0	34.0	23.2	8.0	16.4	15.2		
	40～49歳	371	100.0	18.6	31.5	30.5	22.4	10.5	20.8	16.2		
	50歳以上	282	100.0	29.4	31.2	26.6	14.9	6.4	16.3	13.8		

		有名企業で働けるため	正社員として働けるため	賃金が高いため	勤務評価が適切なため	スキルアップになるため	教育訓練があるため	就活活動のつなぎに働けるため	組織にしばらくられないため	子育て、定年等)	ライフスタイルが変	その他
全体		16.9	34.7	21.0	2.6	20.3	3.2	14.6	20.9	22.0	4.4	
女性全体		17.9	33.8	21.8	2.7	20.7	3.3	13.3	21.6	23.5	4.1	
男性全体		8.8	42.5	14.2	2.4	17.4	2.9	24.7	15.1	9.7	6.9	
女性	19歳以下	3.6	3.6	46.4	-	10.7	3.6	3.6	10.7	7.1	3.6	
(年齢別)	20～24歳	12.9	21.5	38.4	1.5	23.3	2.5	25.7	15.6	8.9	3.2	
	25～29歳	20.9	27.7	24.4	2.2	23.8	3.0	17.3	20.5	15.4	4.3	
	30～34歳	21.7	31.7	21.0	2.9	23.3	2.7	12.3	22.8	21.7	4.1	
	35～39歳	17.7	35.9	18.3	2.6	19.8	3.0	13.2	22.8	25.1	3.9	
	40～49歳	14.0	39.6	22.3	3.0	17.8	4.2	11.1	21.3	29.5	3.9	
	50歳以上	10.5	34.6	20.9	2.4	13.2	4.9	8.6	18.8	33.8	6.2	
男性	19歳以下	-	-	27.3	9.1	18.2	-	18.2	9.1	-	-	
(年齢別)	20～24歳	8.8	14.2	25.7	-	15.9	1.8	22.1	8.8	5.3	6.2	
	25～29歳	9.4	32.6	22.3	1.8	23.7	4.5	29.9	12.1	5.4	6.7	
	30～34歳	10.0	41.3	18.1	2.9	24.8	4.2	29.7	14.5	5.5	5.2	
	35～39歳	10.8	50.4	14.0	1.6	18.4	3.6	34.0	14.8	4.8	6.8	
	40～49歳	7.5	55.5	9.4	3.0	13.5	2.7	22.9	18.6	8.9	6.7	
	50歳以上	7.4	40.4	5.0	2.8	8.9	0.7	10.3	16.3	25.5	9.9	

( 3 ) 今まで派遣会社には何社登録しましたか？

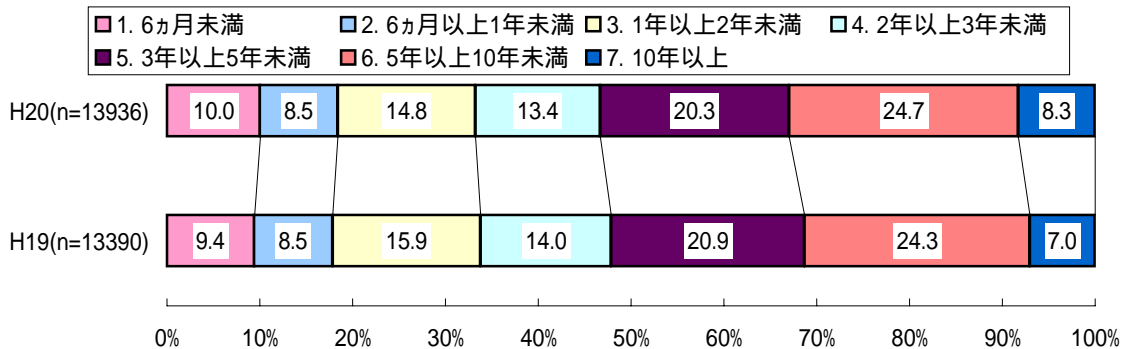
今まで登録したことがある派遣会社の数は、平均すると4.7社であり、「2社以上」の占める割合は、87.2%である。前回の平均は3.8社である。前回と比べて、4社以上の割合が増えている。

業務別で見ると、5号（事務用機器操作）、10号（財務処理）で就業している人の登録会社数「6社以上」が増加しており、製造系の品質管理、引越し、倉庫内作業などは「2～3」社の割合が高い。つまり、事務系はよりよい勤務条件を探していることが考えられ、製造系は多数登録しなくても仕事自体があることが考えられる。



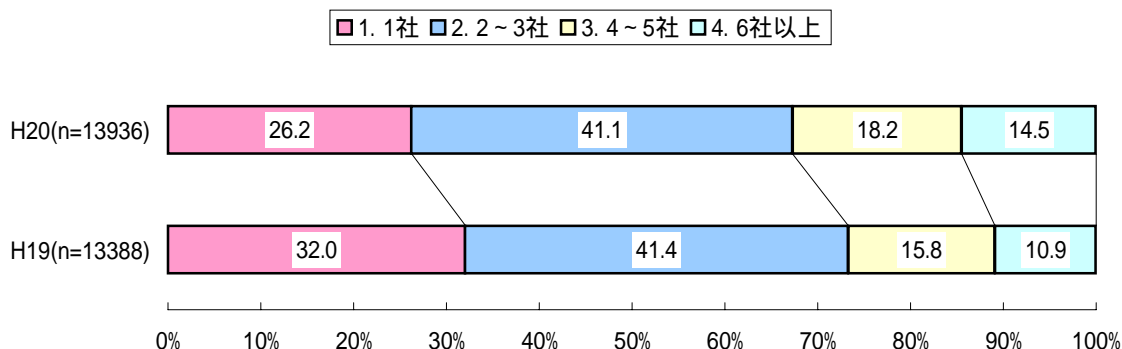
( 4 ) 今まで派遣で働いた期間を通算するとどのくらいですか？（通算派遣期間）

今まで派遣で働いた期間を通算すると、「5年以上10年未満」が最も多く24.7%で、次いで「3年以上5年未満」（20.3%）、続いて「1年以上2年未満」（14.8%）、「2年以上3年未満」（13.4%）である。派遣で働いた期間を通算すると2年以上である人は7割弱を占める。前回と比べてほぼ変わらない。



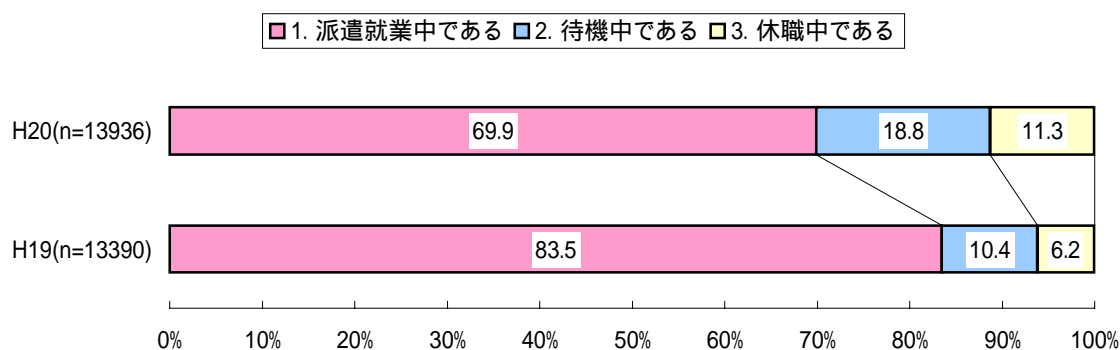
( 5 ) 今まで働いたことのある派遣就業先は何社ですか？

今まで働いたことのある派遣就業先の数は、「2～3社」が最も多く41.1%、次に「1社」が26.2%である。3社以下で、7割弱を占める。登録会社数の増加に比例して、4社以上も増加しており、平均すると3.7社である。前回の平均は3.2社である。



< 現在（または直近）の派遣会社からの派遣就業についてお聞きします >  
 ( 6 ) 現在、派遣で働いていますか？

現在、派遣で働いているかについては、「派遣就業中である」が69.9%と多数を占め、「待機中である」と「休職中である」を合わせて30.1%である。前回と比べて、待機・休職中の割合が増えている。



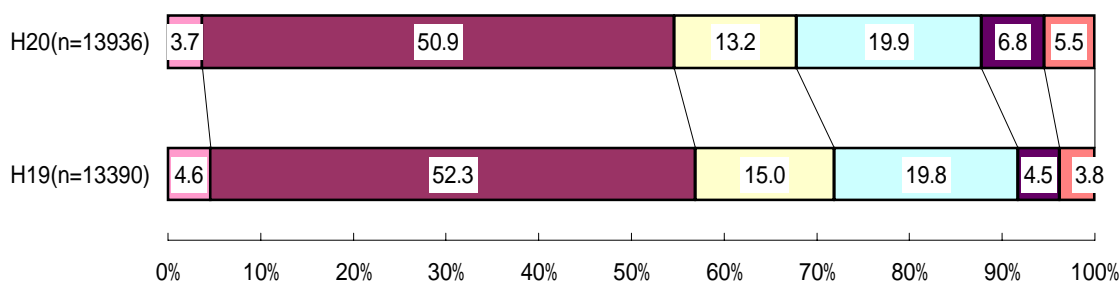
(7) 現在(または直近)の就業先の都道府県はどちらですか？

現在(または直近)の就業先の都道府県を地区別で見ると、「関東地区」が50.9%で半分以上を占め、次に「関西地区」(19.9%)、続いて「中部地区」(13.2%)である。  
前回と比べて、ほぼ変わらない。

地区の中でさらに、主要都道府県とそれ以外で見ると、「関東(埼玉、千葉、東京、神奈川)」が49.2%で半数を占める。

都道府県別では、「東京都」が36.3%と群を抜き、「大阪府」(13.5%)、「愛知県」(9.5%)の順となる。

■北海道・東北地区 ■関東地区 □中部地区 □関西地区 ■中国・四国地区 ■九州・沖縄地区



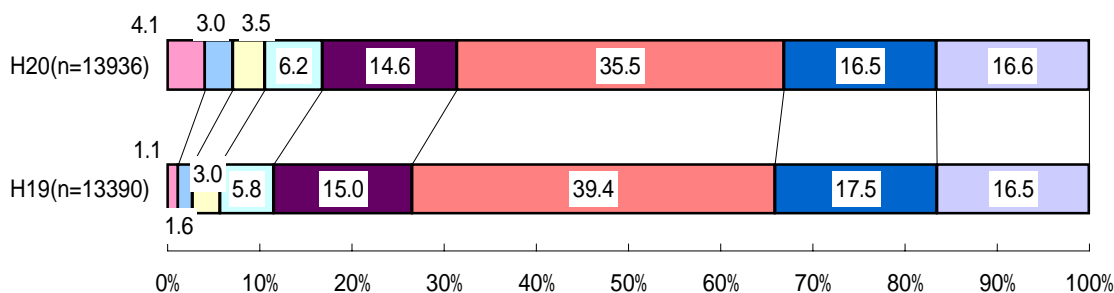
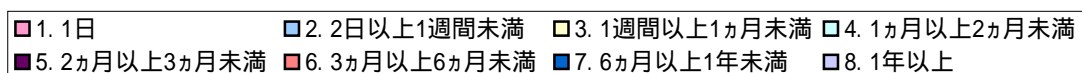
主要都道府県とそれ以外		調査成数 20年	割合 (%)	調査成数 19年	割合 (%)
	全体	13,936	100.0	13,390	100.0
1	北海道	229	1.6	315	2.4
2	東北(宮城)	172	1.2	170	1.3
3	東北(青森・岩手・秋田・山形・福島)	110	0.8	126	0.9
4	関東(東京)	5,056	36.3	4,959	37.0
5	関東(埼玉・千葉・東京・神奈川)	6,858	49.2	6,729	50.3
6	関東(茨城・栃木・群馬・山梨)	240	1.7	279	2.1
7	中部(愛知)	1,321	9.5	1,390	10.4
8	中部(新潟・富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・三重)	519	3.7	621	4.6
9	関西(大阪)	1,881	13.5	1,727	12.9
10	関西(京都・大阪・兵庫)	2,611	18.7	2,468	18.4
11	関西(滋賀・奈良・和歌山)	168	1.2	183	1.4
12	中国(岡山・広島)	595	4.3	329	2.5
13	中国(鳥取・島根・山口)	40	0.3	50	0.4
14	四国(香川・徳島・愛媛・高知)	309	2.2	219	1.6
15	九州(福岡)	485	3.5	331	2.5
16	九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)	279	2.0	180	1.3

	都道府県別	調平成 査成 数 2 0 年	割 合 ( %)	調平成 査成 数 1 9 年	割 合 ( %)
	全体	13,936	100.0	13,390	100.0
1	北海道	229	1.6	315	2.4
2	青森県	29	0.2	26	0.2
3	岩手県	21	0.2	27	0.2
4	宮城県	172	1.2	170	1.3
5	秋田県	11	0.1	19	0.1
6	山形県	13	0.1	12	0.1
7	福島県	36	0.3	42	0.3
8	茨城県	104	0.7	133	1.0
9	栃木県	88	0.6	84	0.6
10	群馬県	36	0.3	54	0.4
11	埼玉県	442	3.2	366	2.7
12	千葉県	374	2.7	418	3.1
13	東京都	5,056	36.3	4,959	37.0
14	神奈川県	986	7.1	986	7.4
15	新潟県	45	0.3	62	0.5
16	山梨県	12	0.1	8	0.1
17	富山県	19	0.1	26	0.2
18	石川県	26	0.2	35	0.3
19	福井県	14	0.1	31	0.2
20	長野県	32	0.2	75	0.6
21	岐阜県	79	0.6	92	0.7
22	静岡県	211	1.5	190	1.4
23	愛知県	1,321	9.5	1,390	10.4
24	三重県	93	0.7	110	0.8
25	滋賀県	96	0.7	128	1.0
26	京都府	267	1.9	287	2.1
27	大阪府	1,881	13.5	1,727	12.9
28	兵庫県	463	3.3	454	3.4
29	奈良県	44	0.3	42	0.3
30	和歌山県	28	0.2	13	0.1
31	鳥取県	5	0.0	12	0.1
32	岡山県	270	1.9	92	0.7
33	香川県	129	0.9	80	0.6
34	徳島県	18	0.1	27	0.2
35	愛媛県	140	1.0	80	0.6
36	高知県	22	0.2	32	0.2
37	島根県	10	0.1	11	0.1
38	広島県	325	2.3	237	1.8
39	山口県	25	0.2	27	0.2
40	福岡県	485	3.5	331	2.5
41	佐賀県	30	0.2	21	0.2
42	長崎県	33	0.2	29	0.2
43	熊本県	79	0.6	38	0.3
44	大分県	26	0.2	24	0.2
45	宮崎県	44	0.3	18	0.1
46	鹿児島県	39	0.3	27	0.2
47	沖縄県	28	0.2	23	0.2

( 8 ) 現在 ( または直近 ) の契約の期間はどのくらいですか？ ( 契約期間 )

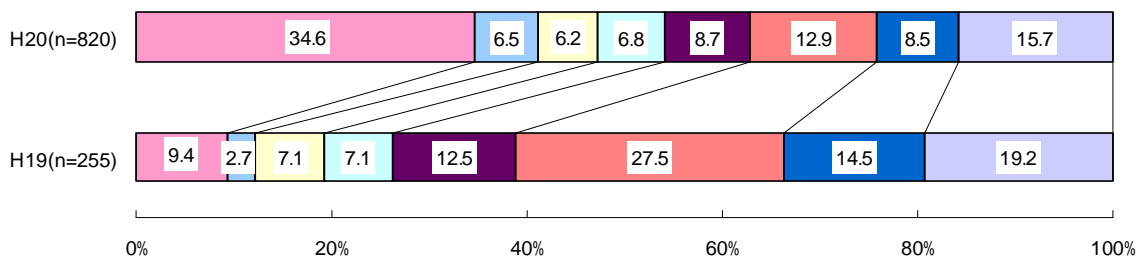
契約の期間は、「3ヵ月以上6ヵ月未満」が最も多く35.5%、次に「1年以上」(16.6%)、「6ヵ月以上1年未満」(16.5%)、続いて「2ヵ月以上3ヵ月未満」(14.6%)である。6ヵ月以上は33.1%を占める。他方、1ヵ月未満は10.6%を占める。

前回と比べて、「3ヵ月以上6ヵ月未満」の割合が減少し、「1ヵ月未満」の割合が増えているが、「製造・軽作業系」の「1日」の大幅な増加が影響している。



(参考) 日雇い派遣指針では、「日雇い派遣」は「日々」又は「30日以内」の労働契約を結んで派遣すると定義されている。

製造・軽作業系

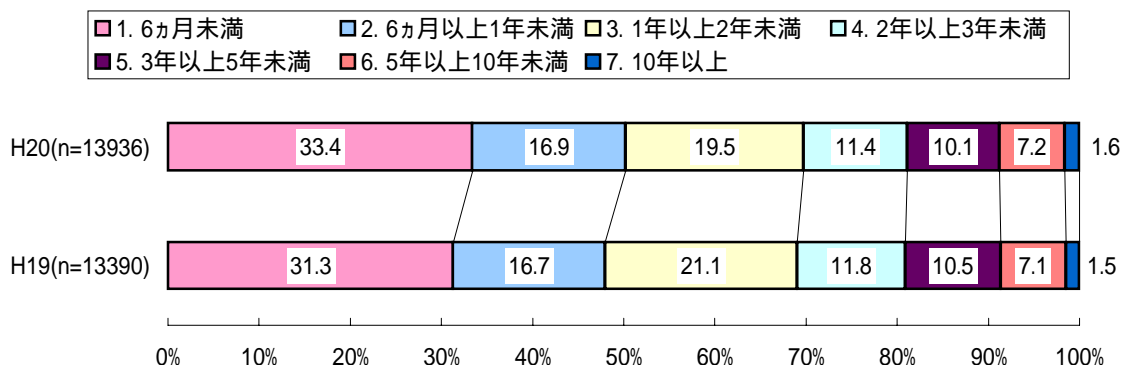




(9) 現在(または直近)の就業先において、通算した就業期間はどのくらいですか？  
(通算就業期間)

同じ就業先において、通算した就業期間は、「6ヵ月未満」が最も多く33.4%で、次に「1年以上2年未満」(19.5%)、続いて「6ヵ月以上1年未満」(16.9%)である。同じ就業先で通算3年以上就業している人は全体の約2割弱である。

前回と比べて、ほぼ変わらない。



契約期間の短期化や細切れ契約が指摘される中、通算就業期間の長短にかかわらず「3ヵ月以上6ヵ月未満」の契約期間が一様に35%前後を占めているが、よく見ると、通算就業期間が6ヵ月以上になると「6ヵ月以上1年未満」の契約期間の占める割合が比較的大きくなっている。さらに、通算就業期間が「1年以上」になると「1年以上」の契約期間が多くなっている。通算就業期間に比べて細切れになっている実態も確認されるが、契約の繰り返しで結果として通算就業期間が長くなっている場合もあると思われる。意図的な細切れ契約の締結・更新はなくすようにしなければならないし、契約の長期化に努めなければならない。

通算就業期間

	調査数 (n)	全体	6ヵ月未満	6ヵ月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上
調査数 (n)	13,936		4,649	2,353	2,715	1,589	1,402	1,006	222
全体	13,936	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1日	566	4.1	9.7	1.6	1.6	1.3	0.6	0.3	2.3
2日以上1週間未満	417	3.0	7.2	1.0	1.1	0.9	0.9	0.5	-
1週間以上1ヵ月未満	491	3.5	7.5	2.0	2.0	1.0	1.1	0.7	1.8
1ヵ月以上2ヵ月未満	865	6.2	11.4	3.8	4.1	3.8	2.8	2.5	5.0
2ヵ月以上3ヵ月未満	2,031	14.6	17.3	12.8	13.3	14.9	13.3	12.0	8.6
3ヵ月以上6ヵ月未満	4,950	35.5	32.5	34.5	39.0	37.3	37.1	38.5	31.5
6ヵ月以上1年未満	2,303	16.5	8.1	33.4	14.8	14.6	18.2	20.4	21.6
1年以上	2,313	16.6	6.5	11.0	24.1	26.2	26.0	25.1	29.3

契約期間P15 Q2(8)

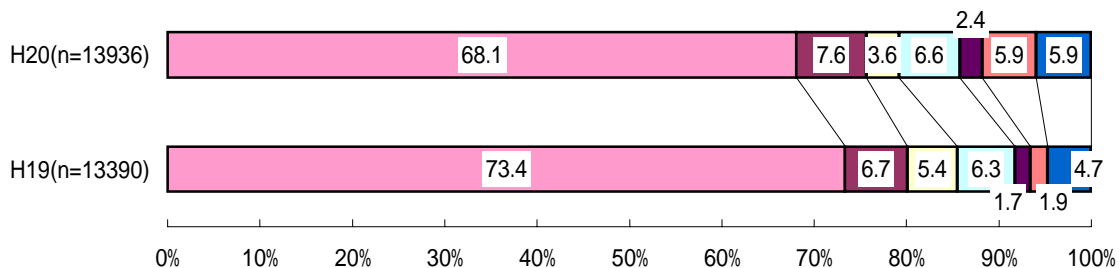
### Q. 3 現在（または直近）の業務

(1) 現在（または直近）の、実際に働かされている主な業務の種類を次の中から選択し、該当する数字に をおつけ下さい。

実際に働いている業務をカテゴリー別に分類すると、「オフィス系」が最も多く68.1%であり、他のカテゴリーの「営業・販売・サービス」や「IT技術・通信系」「金融系」は数%しかない。

業務の種類で分類すると、政令で定める26業務については「5号業務（事務用機器操作）」が最も多く38.3%、「11号業務（貿易、国内取引業務）」（6.8%）、続いて「10号業務（財務処理）」（4.6%）や「16号業務（受付・案内、駐車場管理等）」（3.3%）、「24号業務（テレマーケティングの営業、オンライン取引コールセンター業務）」（2.7%）である。政令で定める26業務以外の業務については、全体の中の28.5%に過ぎなく、「製造・軽作業」が5.9%、「営業・販売・その他」が5.0%である。

前回と比べて、若干「オフィス系」が減少して、「製造・軽作業系」が増加している。

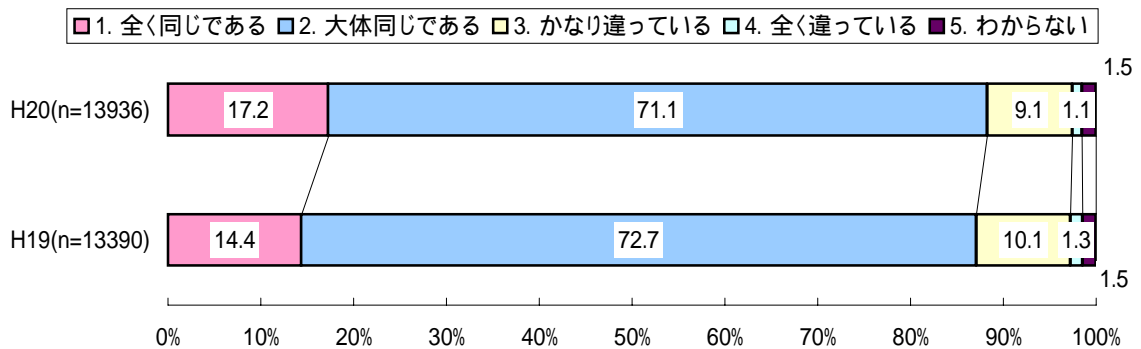


	調平 査成 数 2 0 年	割 合 ( %)	調平 査成 数 1 9 年	割 合 ( %)
全 体	13,936	100.0	13,390	100.0
【1号】ソフトウェア開発、システムエンジニア・プログラマー	152	1.1	156	1.2
【2号】機械設計 (CADオペレーター等)	279	2.0	217	1.6
【5号】OA事務、英文事務、PCオペレーター、データエンター、金融事務、ネットワーク構築、WEB作成	5,344	38.3	5,617	41.9
【6号】通訳・翻訳・速記)	129	0.9	98	0.7
【7号】秘書	212	1.5	210	1.6
【8号】専門的文書ファイリング	244	1.8	318	2.4
【9号】市場調査	19	0.1	26	0.2
【10号】財務処理	648	4.6	634	4.7
【11号】貿易・国際業務、営業事務 (国内取引文書作成)	949	6.8	1,032	7.7
【12号】デモンストレーション (高度のスキルが必要な機械の紹介及び説明)	40	0.3	38	0.3
【13号】添乗	10	0.1	16	0.1
【14号】建築物清掃	12	0.1	3	0.0
【15号】建築設備運転、点検、整備	14	0.1	2	0.0
【16号】受付・案内、駐車場管理等	464	3.3	398	3.0
【17号】研究開発	242	1.7	258	1.9
【18号】事業の実施体制の企画、立案	8	0.1	6	0.0
【19号】制作・編修・校正、DTPデザイン	215	1.5	144	1.1
【20号】広告デザイン	12	0.1	9	0.1
【WEBデザイン複合】Webデザイン (19号or20号)、CGデザイン (19号or20号)、【その他クリエイティブ業務】	82	0.6	67	0.5
【21号】インテリアコーディネーター	26	0.2	4	0.0
【23号】OAインストラクター (ユーザーサポート・ヘルプデスクを含む)、【その他IT技術・通信系業務】	419	3.0	379	2.8
【24号】テレマーケティングの営業、オンライン取引コールセンター業務	372	2.7	301	2.2
【25号】セールスエンジニアの営業、資産運用提案業務、証券営業	55	0.4	91	0.7
【3、4、22、26号】放送関連業務	7	0.1	11	0.1
【オフィス・その他】庶務事務 (OA業務は含まず)、営業アシスタント、その他オフィス業務	1,796	12.9	1,893	14.1
【営業・販売・その他】営業、販売、接客販売、接客、加入促進、その他営業・販売業務	697	5.0	633	4.7
【その他金融業務】窓口・接客等の業務	158	1.1	273	2.0
【製造・軽作業】製造 (ライン業務・生産管理等)、各種運転手、軽作業 (会場設営・引越し等)、倉庫内作業、その他製造・軽作業業務	820	5.9	255	1.9
【医療】 (医療事務、医療関連業務、看護関連業務)	207	1.5	118	0.9
【介護・福祉】介護関連業務、福祉関連業務	48	0.3	21	0.2
【その他専門職】	256	1.8	162	1.2

(2)(1)で回答した業務は、あらかじめ派遣元から聞いている業務内容や就業条件明示書(契約書)に書かれている業務内容と同じでしたか?

業務内容は、「全く同じである」「大体同じである」を合わせて、88.3%と9割弱を占め、「かなり違っている」「全く違っている」は10.2%である。

前回と比べて、若干改善傾向があり、派遣元企業のマッチング機能の精度の高さがうかがえる。今後はこの1割のミスマッチングに対してどう対応していくかが課題である。

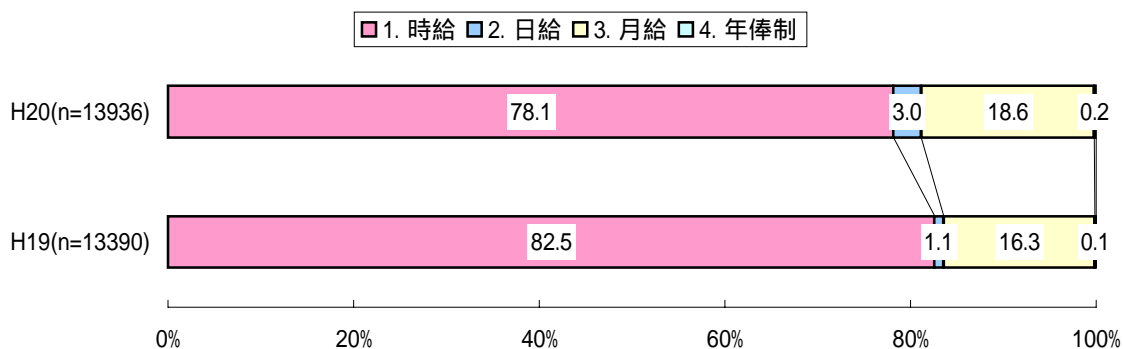


## Q. 4 現在（または直近）の派遣での賃金及び労働時間等

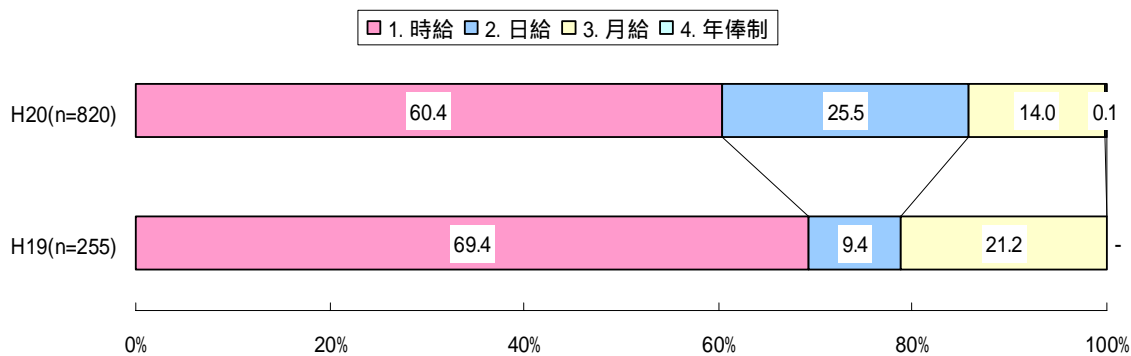
(1) 現在（または直近）の賃金は、どのように支払われていますか？

賃金の支給方法は、「時給」が78.1%と大多数を占め、大部分が時給制である。「月給」は18.6%であり、常用雇用者（特定派遣）の可能性もある。

前回と比べて、「時給」の割合が減少している。「製造・軽作業系」において、「時給」の割合が減少し、「日給」の割合が増加した影響のためと思われる。



### 製造・軽作業系

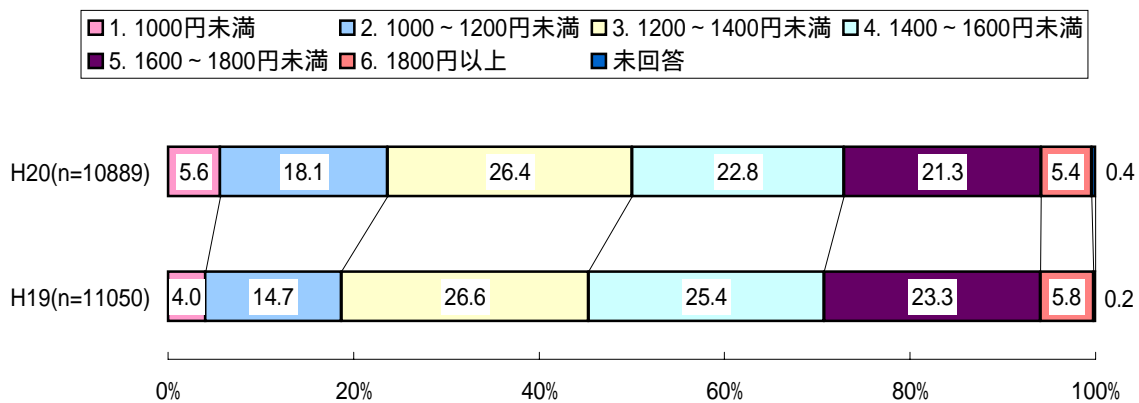


( 2 ) 現在 ( または直近 ) の賃金額についてお答えください。  
 ( ( 1 ) の選択肢を元に )

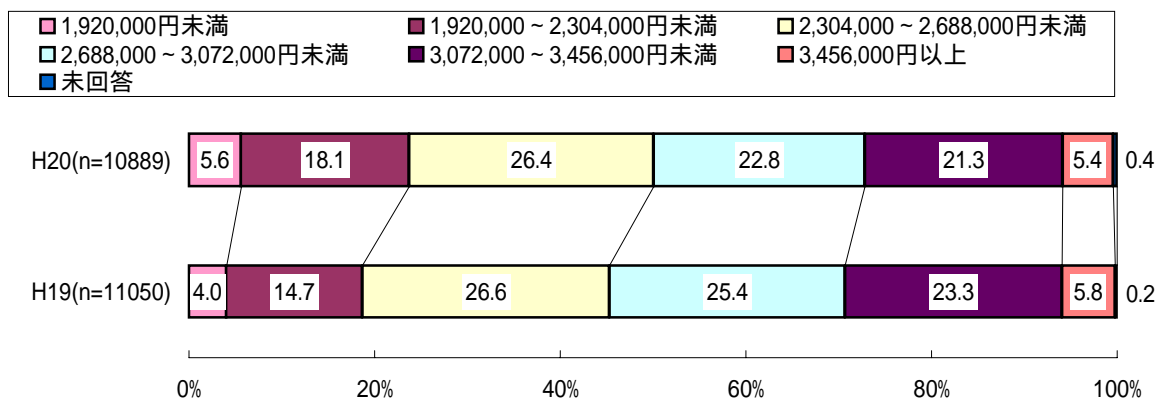
1 . 時給

賃金の支給方法が「時給」との回答者に、賃金額はいくらか尋ねた結果、「1200～1400円未満」が最も多く26.4%、次に「1400～1600円未満」(22.8%)、続いて「1600～1800円未満」(21.3%)で、この層で7割強を占める。平均は1,386円である。前回の平均は1,417円である。

下段のグラフは、同じ数値を想定年収で表示したものである。

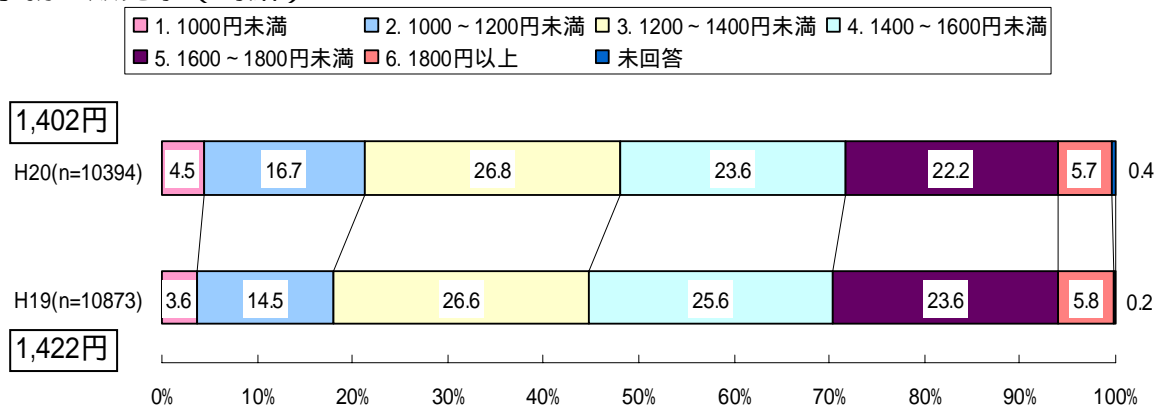


想定年収 ( = 平均時給 × 8 時間 × 20 日 × 12 カ月 )

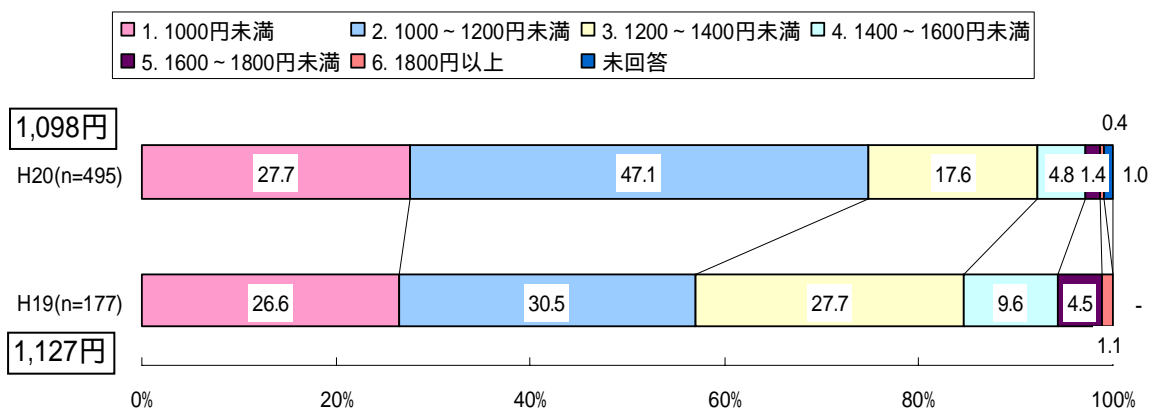


時給を各年度で「事務・販売系」と「製造・軽作業系」で分けたところ、「事務・販売系」では（平均1,422円 1,402円）、「製造・軽作業系」では（平均1,127円 1,098円）となり、「事務・販売系」だけでは、減少の幅が小さい結果となった。  
「事務・販売系」においても「1,200円未満」が若干増加していることで平均額を下げてはいるが、「製造・軽作業系」では、大幅に増加（74.8%）していることで全体の平均額に大きく影響したことがあげられる。

### 事務・販売系（時給）

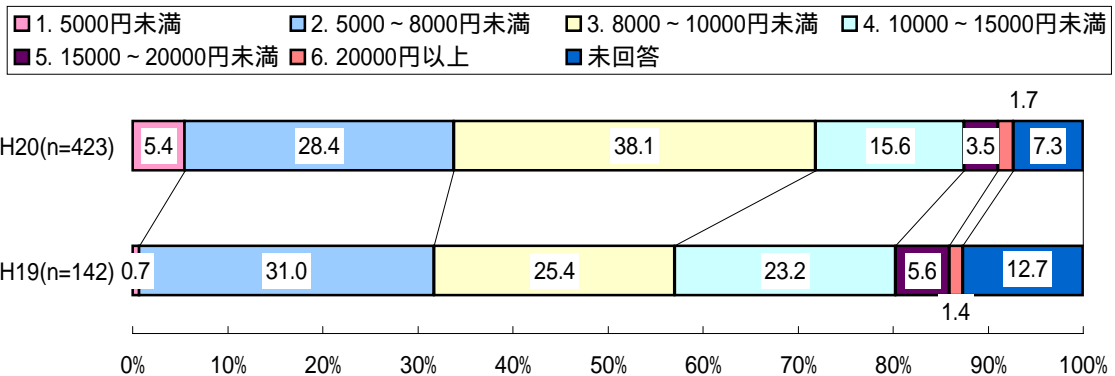


### 製造・軽作業系（時給）



## 2. 日給

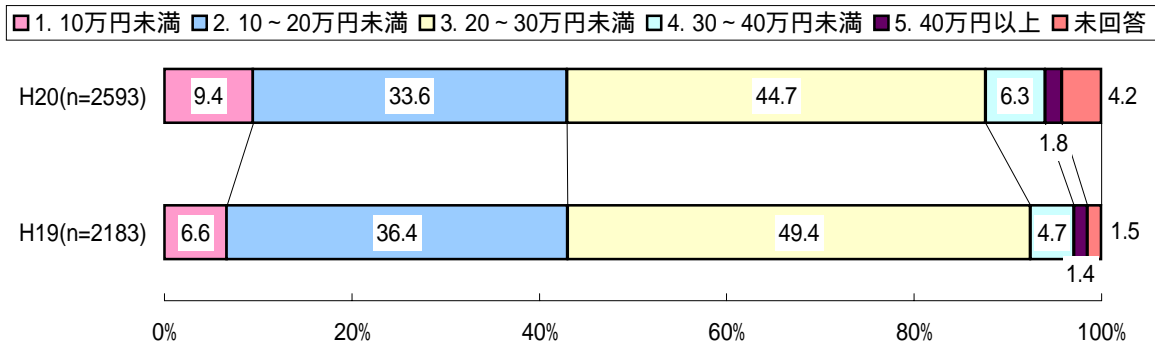
賃金の支給方法が「日給」との回答者に、賃金額はいくらか尋ねた結果、「8000～10000円未満」が最も多く38.1%、次に「5000～8000円未満」（28.4%）、続いて「10000～15000円未満」（15.6%）で、この層で8割強を占める。平均は8,438円である。前回の平均は9,196円である。また、「製造・軽作業系」が増加したことで「5000円未満」の割合が増え、今回は平均額がかなり下がった。



## 3. 月給

小数点以下は四捨五入してご入力ください。 例：20.3万円 20万円

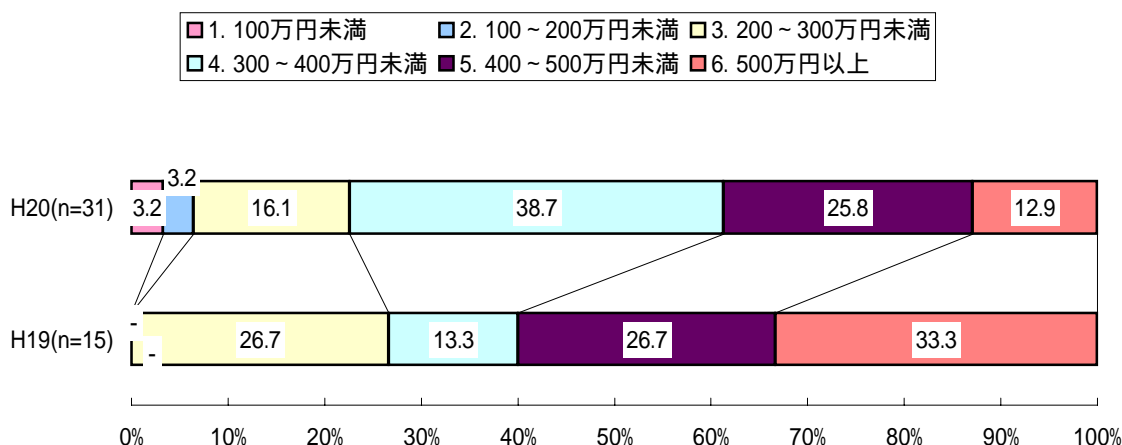
賃金の支給方法が「月給」との回答者に、賃金額はいくらか尋ねた結果、「20～30万円未満」が最も多く44.7%、次に「10～20万円未満」（33.6%）、この層で8割強を占める。「製造・軽作業系」の増加により、「10万円未満」が増加し、平均は19.5万円である。前回の平均は19.6万円である。





4 . 年収 小数点以下は四捨五入してご入力ください。 例：300.5万円 301万円

賃金の支給方法が「年収」との回答者に、賃金額はいくらか尋ねた結果、「300～400万円未満」が最も多く38.7%、次に「400～500万円未満」(25.8%)、続いて「200～300万円以上」(16.1%)で、平均は360.3万円である。  
 前回と比べて、「300～400万円未満」が大幅に増加し、「500万円以上」かなり減少している。前回の平均は419.9万円である。  
 母数が少ないため参考値



都道府県別・業務別の平均時給

都道府県全体の平均時給は1,386円となり、想定平均年収(平均時給×8時間×20日×12ヵ月)は2,662,464円である。東京が最も高く1,568円、3,011,712円である。地域的には、首都圏が高く、続いて東海と近畿が高い。

業務別では、26業務全体の平均時給は1,424円であり、その中で一番高いのは「【1号】ソフトウェア開発、システムエンジニア・プログラマー」で1,951円、続いて「【15号】建築設備運転、点検、整備」で1,913円である。政令で定める26業務以外の業務では、平均時給は1,281円であり、高い平均時給は「【その他専門職】」の1,421円(ex. 建築設計、試験監督等)で、続いて「【その他金融業務】窓口・接客等の業務」の1,359円である。

	調査数 (n)	全体	1000円未満	1000}1200円未満	1200}1400円未満	1400}1600円未満	1600}1800円未満	1800円以上	無回答	平均 (円)	想定平均年収 (円)
全体	10,889	100.0	5.6	18.1	26.4	22.8	21.3	5.4	0.4	1,386.7	2,662,464
北海道	186	100.0	25.8	55.4	13.4	3.2	0.5	1.6	-	1,058.7	2,032,704
青森県	20	100.0	30.0	55.0	15.0	-	-	-	-	1,050.8	2,017,536
岩手県	15	100.0	40.0	53.3	6.7	-	-	-	-	973.3	1,868,736
宮城県	132	100.0	9.8	53.0	32.6	3.0	0.8	-	0.8	1,135.1	2,179,392
秋田県	9	100.0	11.1	44.4	22.2	-	22.2	-	-	1,201.1	2,306,112
山形県	11	100.0	18.2	54.5	27.3	-	-	-	-	1,069.5	2,053,440
福島県	32	100.0	18.8	40.6	34.4	6.3	-	-	-	1,115.3	2,141,376
茨城県	88	100.0	15.9	15.9	33.0	25.0	4.5	4.5	1.1	1,301.2	2,498,304
栃木県	62	100.0	11.3	11.3	53.2	17.7	-	6.5	-	1,275.6	2,449,152
群馬県	28	100.0	7.1	25.0	53.6	3.6	3.6	7.1	-	1,264.3	2,427,456
埼玉県	320	100.0	4.7	16.9	25.6	36.6	12.5	3.8	-	1,358.3	2,607,936
千葉県	277	100.0	5.1	17.0	17.0	40.4	17.3	2.9	0.4	1,375.9	2,641,728
東京都	3,995	100.0	1.7	5.9	9.2	24.4	48.5	9.9	0.4	1,568.6	3,011,712
神奈川県	737	100.0	4.5	13.2	13.2	44.0	17.2	7.5	0.5	1,437.3	2,759,616
新潟県	31	100.0	12.9	45.2	32.3	3.2	-	3.2	3.2	1,306.0	2,507,520
山梨県	9	100.0	-	55.6	22.2	11.1	-	11.1	-	1,257.8	2,414,976
富山県	10	100.0	10.0	50.0	40.0	-	-	-	-	1,142.5	2,193,600
石川県	20	100.0	15.0	40.0	35.0	5.0	-	-	5.0	1,128.9	2,167,488
福井県	12	100.0	-	83.3	16.7	-	-	-	-	1,092.5	2,097,600
長野県	27	100.0	3.7	37.0	48.1	7.4	-	3.7	-	1,205.6	2,314,752
岐阜県	59	100.0	10.2	6.8	72.9	8.5	-	1.7	-	1,235.4	2,371,968
静岡県	161	100.0	3.1	13.7	67.1	12.4	1.9	1.9	-	1,272.5	2,443,200
愛知県	1,054	100.0	2.8	8.9	55.4	25.1	4.3	3.3	0.2	1,362.2	2,615,424
三重県	73	100.0	2.7	16.4	68.5	5.5	4.1	1.4	1.4	1,286.8	2,470,656
滋賀県	72	100.0	5.6	22.2	52.8	15.3	1.4	2.8	-	1,273.6	2,445,312
京都府	216	100.0	9.3	21.8	55.6	9.7	0.9	2.3	0.5	1,217.6	2,337,792
大阪府	1,485	100.0	4.4	12.7	42.5	31.8	5.4	2.6	0.7	1,342.6	2,577,792
兵庫県	370	100.0	8.1	19.7	50.0	17.3	3.2	1.6	-	1,263.3	2,425,536
奈良県	32	100.0	6.3	15.6	50.0	21.9	-	-	6.3	1,248.3	2,396,736
和歌山県	21	100.0	19.0	33.3	33.3	14.3	-	-	-	1,154.8	2,217,216
鳥取県	5	100.0	-	60.0	40.0	-	-	-	-	1,176.0	2,257,920
岡山県	217	100.0	6.9	70.5	18.0	2.8	0.5	1.4	-	1,138.3	2,185,536
香川県	101	100.0	8.9	54.5	30.7	5.0	-	1.0	-	1,157.1	2,221,632
徳島県	12	100.0	8.3	58.3	16.7	-	8.3	8.3	-	1,310.8	2,516,736
愛媛県	109	100.0	29.4	60.6	9.2	0.9	-	-	-	1,019.0	1,956,480
高知県	14	100.0	-	85.7	14.3	-	-	-	-	1,047.9	2,011,968
島根県	9	100.0	11.1	66.7	11.1	-	-	-	11.1	1,097.9	2,107,968
広島県	264	100.0	6.4	47.7	38.6	4.2	1.5	0.8	0.8	1,165.8	2,238,336
山口県	17	100.0	5.9	64.7	29.4	-	-	-	-	1,138.8	2,186,496
福岡県	362	100.0	12.2	63.8	20.7	1.4	0.3	0.8	0.8	1,104.1	2,119,872
佐賀県	21	100.0	47.6	28.6	19.0	4.8	-	-	-	1,041.7	2,000,064
長崎県	28	100.0	39.3	50.0	7.1	-	3.6	-	-	1,007.3	1,934,016
熊本県	63	100.0	25.4	60.3	11.1	1.6	1.6	-	-	1,022.4	1,963,008
大分県	20	100.0	20.0	65.0	15.0	-	-	-	-	1,052.5	2,020,800
宮崎県	37	100.0	51.4	29.7	2.7	8.1	-	5.4	2.7	1,060.7	2,036,544
鹿児島県	29	100.0	31.0	58.6	10.3	-	-	-	-	1,015.5	1,949,760
沖縄県	17	100.0	52.9	35.3	11.8	-	-	-	-	949.1	1,822,272

	調査数 (n)	全体	1000円未満	1000円～12000円未満	12000円～20000円未満	20000円～30000円未満	30000円～40000円未満	40000円～50000円以上	無回答	平均 (円)
全体	10,889	100.0	5.6	18.1	26.4	22.8	21.3	5.4	0.4	1,386.7
[1号]ソフトウェア開発、システムエンジニア・プログラマー	102	100.0	-	2.9	6.9	12.7	16.7	60.8	-	1,951.4
[2号]機械設計(CADオペレーター等)	206	100.0	1.0	8.7	25.2	32.0	25.7	7.3	-	1,476.4
[5号]OA事務、英文事務、PCオペレーター、データエントリー、金融事務、ネットワーク構築、WEB作成	4,416	100.0	3.5	16.5	27.5	25.1	24.0	3.0	0.3	1,394.1
[6号]通訳・翻訳・速記)	99	100.0	2.0	5.1	12.1	23.2	24.2	32.3	1.0	1,664.2
[7号]秘書	164	100.0	0.6	6.7	14.6	18.3	42.1	17.1	0.6	1,573.1
[8号]専門的文書ファイリング	189	100.0	5.8	18.5	29.1	25.4	18.0	3.2	-	1,351.3
[9号]市場調査	16	100.0	6.3	31.3	6.3	12.5	31.3	6.3	6.3	1,368.0
[10号]財務処理	545	100.0	2.8	14.3	21.7	26.1	30.1	4.6	0.6	1,436.6
[11号]貿易・国際業務、営業事務(国内取引文書作成)	772	100.0	1.2	13.5	27.1	23.7	28.4	5.7	0.5	1,448.1
[12号]デモンストレーション(高度のスキルが必要な機械の紹介及び説明)	28	100.0	10.7	7.1	32.1	25.0	25.0	-	-	1,372.6
[13号]添乗	7	100.0	71.4	14.3	-	14.3	-	-	-	987.1
[14号]建築物清掃	9	100.0	44.4	33.3	22.2	-	-	-	-	1,012.2
[15号]建築設備運転、点検、整備	7	100.0	-	-	28.6	-	-	57.1	14.3	1,913.3
[16号]受付・案内、駐車場管理等	355	100.0	14.4	27.6	34.4	13.8	8.7	0.8	0.3	1,216.9
[17号]研究開発	177	100.0	2.8	5.1	27.7	45.2	11.3	7.3	0.6	1,475.6
[18号]事業の実施体制の企画、立案	7	100.0	-	-	-	28.6	57.1	14.3	-	1,672.9
[19号]制作・編修・校正、DTPデザイン	166	100.0	1.8	11.4	12.7	22.9	44.0	6.6	0.6	1,509.7
[20号]広告デザイン	9	100.0	-	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	-	1,457.8
[WEBデザイン複合]Webデザイン(19号or20号)、CGデザイン(19号or20号)[その他クリエイティブ業務]	63	100.0	-	4.8	12.7	14.3	41.3	27.0	-	1,673.3
[21号]インテリアコーディネータ	19	100.0	-	21.1	26.3	31.6	15.8	5.3	-	1,397.9
[23号]OAインストラクター(ユーザーサポート・ヘルプデスクを含む)[その他IT技術・通信系業務]	304	100.0	1.0	9.2	17.4	20.7	24.7	25.0	2.0	1,601.9
[24号]テレマーケティングの営業、オンライン取引コールセンター業務	302	100.0	5.3	17.5	34.4	20.5	17.5	4.0	0.7	1,349.1
[25号]セールスエンジニアの営業、資産運用提案業務、証券営業	46	100.0	-	-	10.9	23.9	23.9	39.1	2.2	1,876.2
[3、4、22、26号]放送関連業務	5	100.0	-	40.0	40.0	20.0	-	-	-	1,258.0
26業務平均										1,424.4

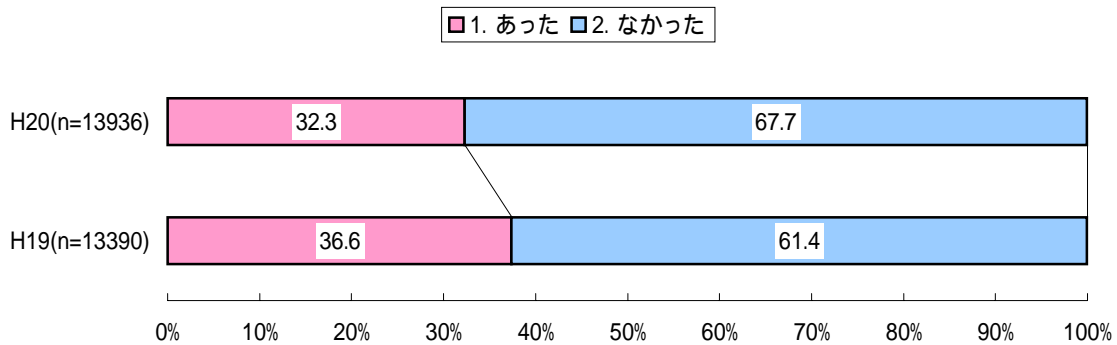
	調査数 (n)	全体	1000円未満	1000円～12000円未満	12000円～14000円未満	14000円～16000円未満	16000円～18000円未満	18000円以上	無回答	平均 (円)
【オフィス・その他】庶務事務(OA業務は含まず)、営業アシスタント、その他オフィス業務	1,440	100.0	6.3	18.3	30.8	24.5	18.0	1.9	0.3	1,341.8
【営業・販売・その他】営業、販売、接客販売、接客、加入促進、その他営業・販売業務	492	100.0	8.9	28.3	34.8	16.3	8.9	2.8	-	1,275.1
【その他金融業務】窓口・接客等の業務	113	100.0	8.0	17.7	23.0	29.2	18.6	3.5	-	1,359.3
【製造・軽作業】製造(ライン業務・生産管理等)、各種運転手、軽作業(会場設営・引越し等)、倉庫内作業、その他製造・軽作業業務	495	100.0	27.7	47.1	17.6	4.8	1.4	0.4	1.0	1,063.5
【医療】(医療事務、医療関連業務、看護関連業務)	145	100.0	13.1	33.8	24.1	9.0	9.0	11.0	-	1,260.3
【介護・福祉】介護関連業務、福祉関連業務	33	100.0	9.1	51.5	27.3	6.1	-	3.0	3.0	1,148.4
【その他専門職】	158	100.0	11.4	26.6	14.6	17.7	13.9	15.2	0.6	1,421.0
26業務以外平均										1,281.5

(3) 現在(または直近)の就業先において、働き始めてから昇給はありましたか？

同じ就業先での昇給の有無は、「なかった」が67.7%、「あった」が32.3%である。  
前回と比べて、「あった」の割合が若干減少している。

「現在(または直近)の就業先において通算した就業期間(Q2(9))」と対比させると、「1年以上」になると「昇給があった」率(39.0%)が全体の構成比率(32.3%)を上回ることとなり、2年以上になると「昇給があった」率(58.4%)が多くなり、通算期間が多くなるほど昇給することがうかがえる。

しかし、10年以上の通算就業期間で「昇給なし」が増加している。個々の事情によるが、能力の向上と貢献度などに応じた処遇の改善に努める必要もあろう。



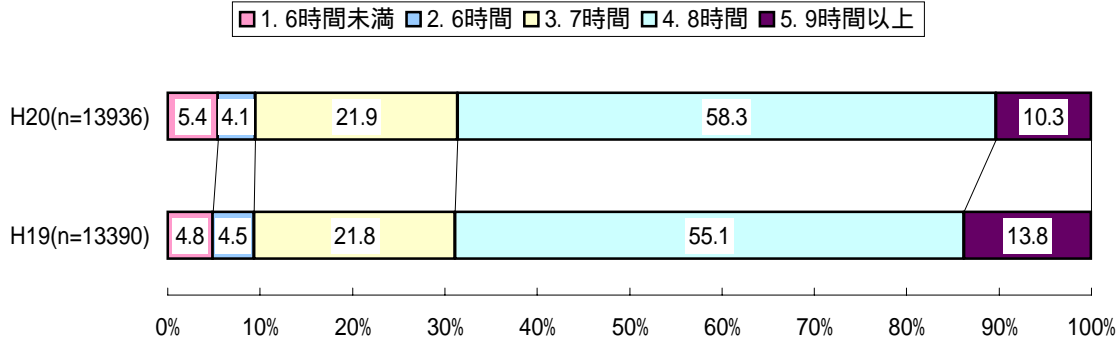
通算就業期間  
P16 Q2(9)

	調査数 (n)	全 体	あ っ た	な か っ た
全 体	13,936	100.0	32.3	67.7
6ヵ月未満	4,649	100.0	4.7	95.3
6ヵ月以上1年未満	2,353	100.0	13.3	86.7
1年以上2年未満	2,715	100.0	39.0	61.0
2年以上3年未満	1,589	100.0	58.4	41.6
3年以上5年未満	1,402	100.0	72.1	27.9
5年以上10年未満	1,006	100.0	81.0	19.0
10年以上	222	100.0	69.4	30.6

(4) 現在(または直近)の勤務状況についてお答えください。

a. 1日の平均勤務時間についてお答えください。

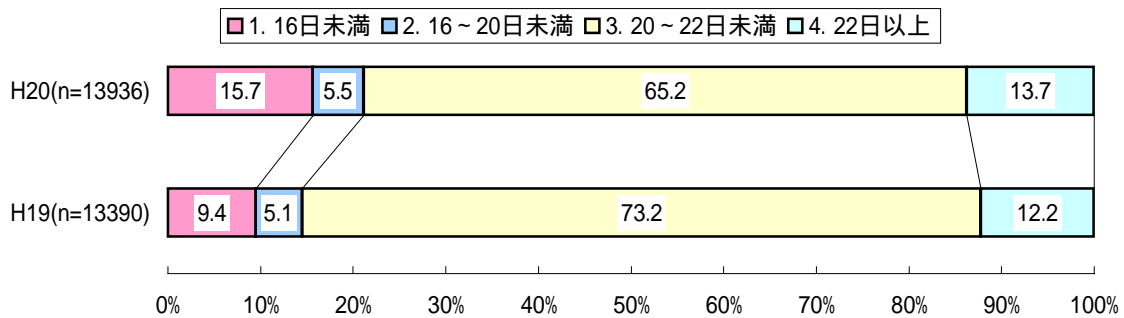
1日の平均勤務時間は、「8時間」が最も多く58.3%、次に「7時間」(21.9%)、続いて「9時間以上」(10.3%)である。1日の平均勤務時間が7時間以上の場合が9割を占める。平均すると、7.7時間である。前回の平均も同じく7.7時間である。



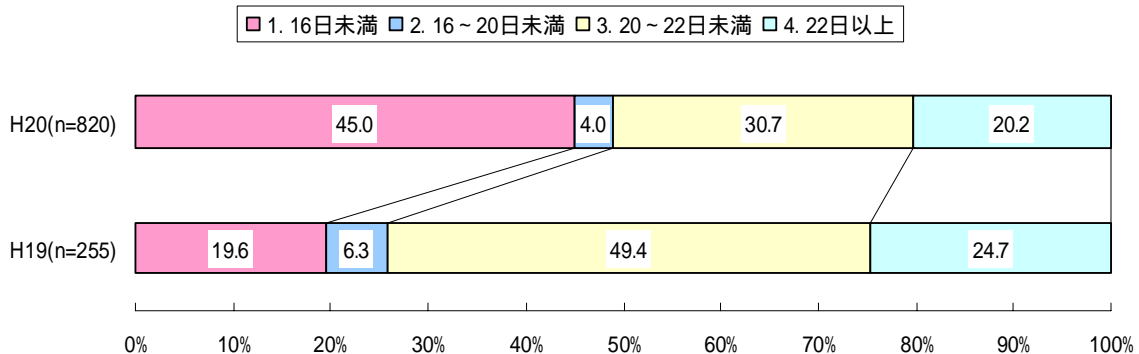
b. 1カ月の平均勤務日数についてお答えください。

1カ月の平均勤務日数は、「20~22日未満」が最も多く65.2%、次に「16日未満」(15.7%)である。1カ月の平均勤務日数の16日以上が8割強を占める。平均は18.5日である。前回の平均は19.3日である。

前回と比べて、「16日未満」が増加し、「20~22日未満」が減少しているのは、「製造・軽作業系」において、「16日未満」が増加したことが反映したと思われる。



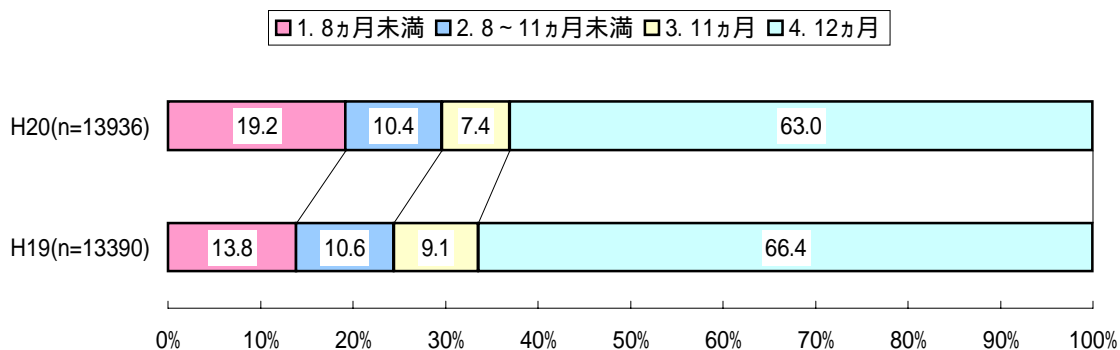
製造・軽作業系



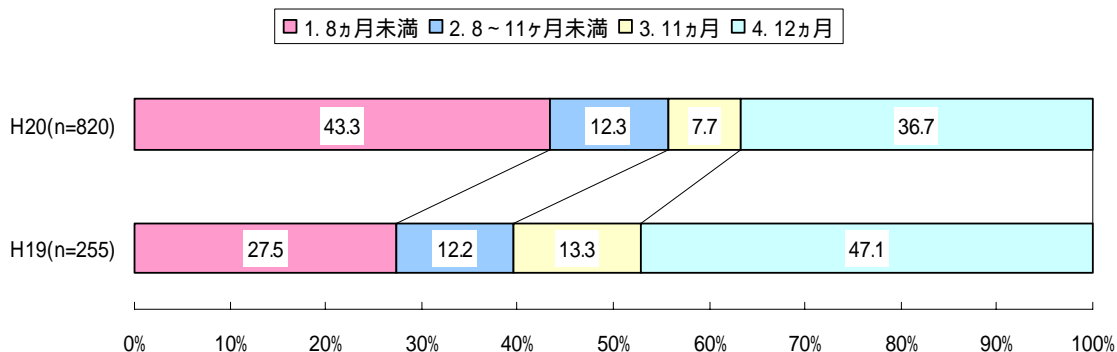
c. 1年間の実働月数についてお答えください。

1年間の実働月数は、「12ヵ月」が最も多く63.0%、次に「8ヵ月未満」(19.2%)、続いて「8~11ヵ月未満」(10.4%)である、平均は10.0ヵ月である。前回の平均は10.4ヵ月である。

前回と比べて、「8ヵ月未満」の割合が増加しているのは、「製造・軽作業系」において、「8ヵ月未満」が増加したことが影響したと思われる。

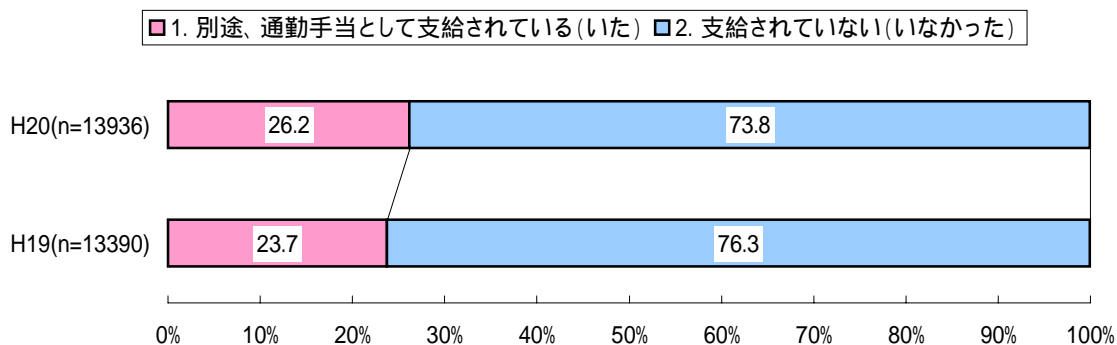


製造・軽作業系



(5) 通勤手当(交通費)は支給されていますか(いましたか)?

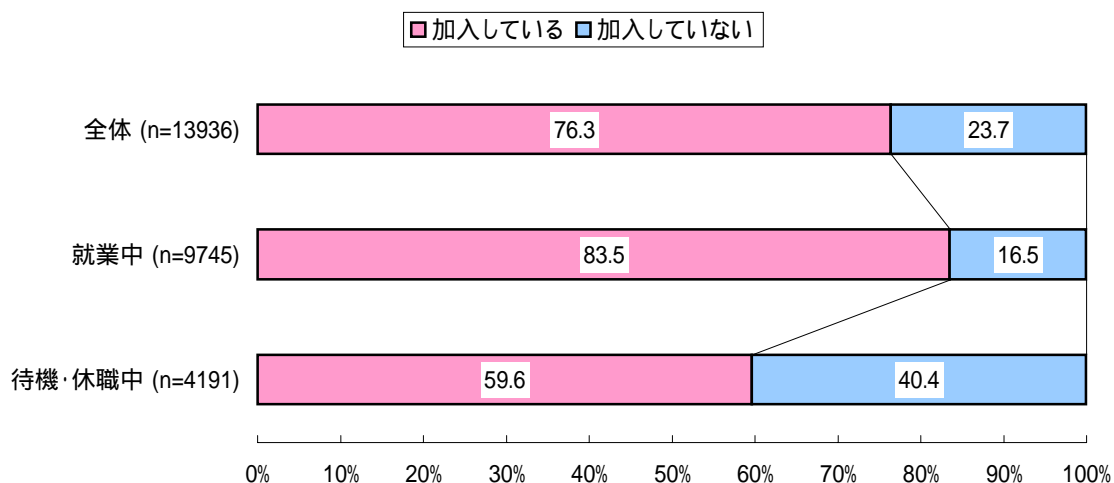
通勤手当の支給は、「支給されていない」が73.8%、「別途、通勤手当として支給されている」が26.2%である。前回と比べて、支給されている割合が若干増加している。



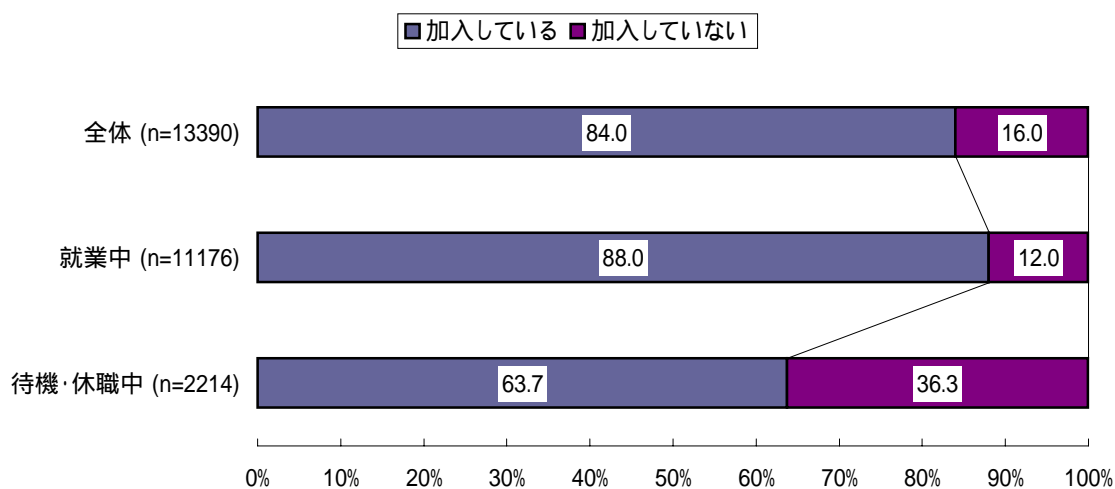
(6) 雇用保険には加入していますか(いましたか)?

全体の雇用保険の加入は、「加入している」が76.3%、「加入していない」が23.7%である。就業中の場合だけで見ると、「加入している」が83.5%と上昇する。  
前回と比べて、「全体」「就業中」の加入している割合が減少している。

平成20年度



平成19年度

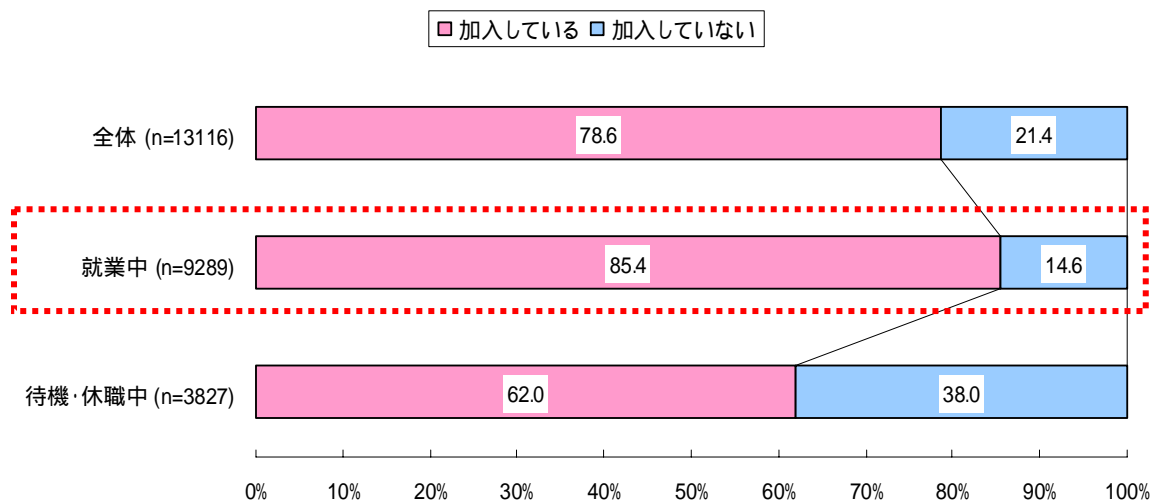




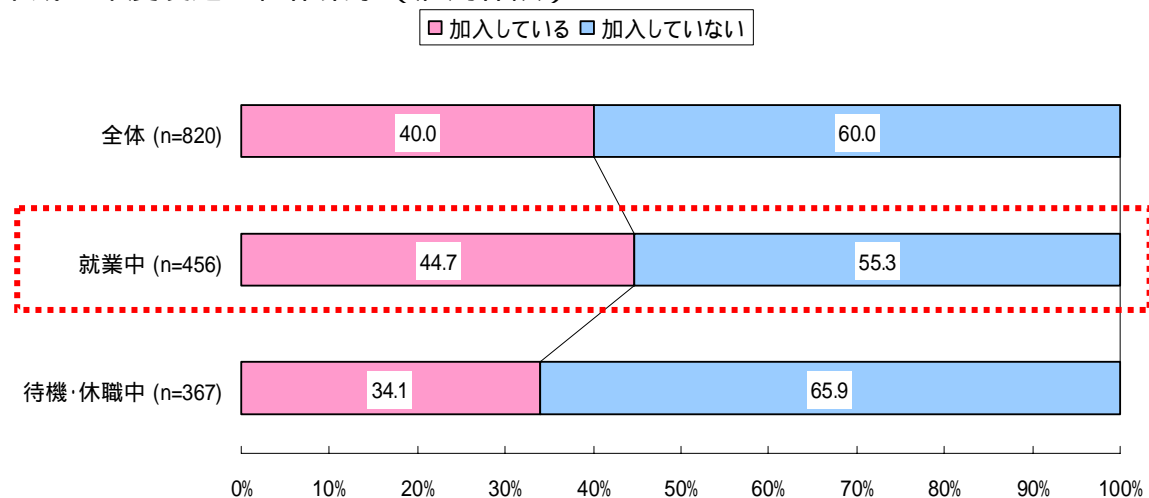
平成20年度の雇用保険を「事務・販売系」と「製造・軽作業系」で分けたところ、「事務・販売系」では85.4%と上昇し、「製造・軽作業系」では44.7%と大幅に下降する結果となった。そのため、「事務・販売系」と「製造・軽作業系」を合わせると、「製造・軽作業系」の影響を受けて、減少したことがあげられる。

登録型派遣労働者の雇用保険の適用基準が、調査時においては、同一の派遣会社で反復継続して1年以上引き続き雇用が見込まれること（数日又は1ヵ月程度空白期間があってもよい）かつ1週間の所定労働時間が20時間以上ということから、事務系は該当する方が多いと考えられるのに対して、製造系では日々働く方など短期契約の人が多くこの基準に満たない方が少なくないことが推測できる。

### 平成20年度事務・販売系（雇用保険）



### 平成20年度製造・軽作業系（雇用保険）



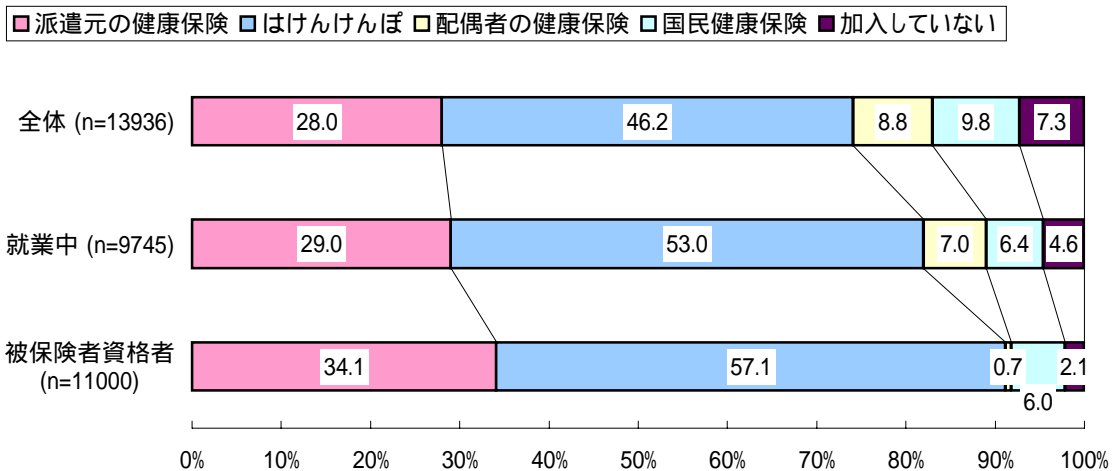
資格の有無については調査項目にないので、就業者であれば、被保険者資格有りとして位置付けた。その結果、被保険者資格無しの方も分母に入っている可能性がある。

(7) 健康保険には加入していますか(いましたか)?

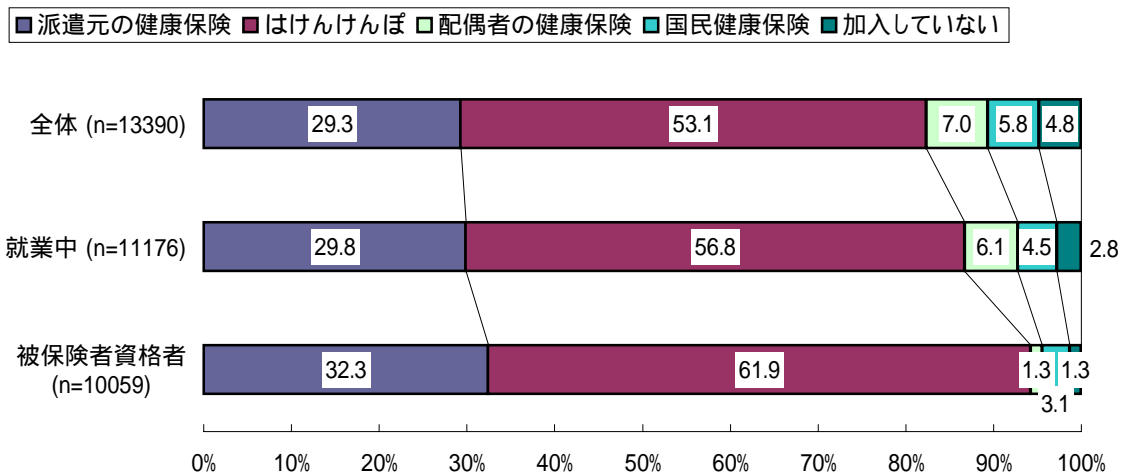
健康保険の加入は、回答者全体では、「人材派遣健康保険組合(はけんけんぽ)に加入している」が最も多く46.2%、次に「派遣元の健康保険(自分名義)に加入している」(28.0%)で、両者を合わせると74.2%を占める。就業中の場合でみると、「派遣元の健康保険に加入している」はあまり変わらないが、「はけんけんぽに加入している」が53.0%と上昇し、さらに、健康保険の被保険者資格を満たさない働き方をしている人を除くと(今回のアンケートの調査項目中からは、4分の3基準に達しない「1日6時間未満」と「月16日未満」の就労を除いた)、「派遣元の健康保険に加入している」(34.1%)、「はけんけんぽに加入している」(57.1%)と上昇する。合わせて、91.2%が健康保険に加入している。前回と比べて、若干減少している。

被保険者資格があると推測できるにもかかわらず健康保険に加入していない人が8.8%存在する。「配偶者の健康保険」(0.7%)、「国民健康保険」(6.0%)、「未加入」(2.1%)について、被保険者資格の有無を就労の実態から検証し、被保険者資格を満たす場合には加入の促進に努めなければならない。

平成20年度



平成19年度

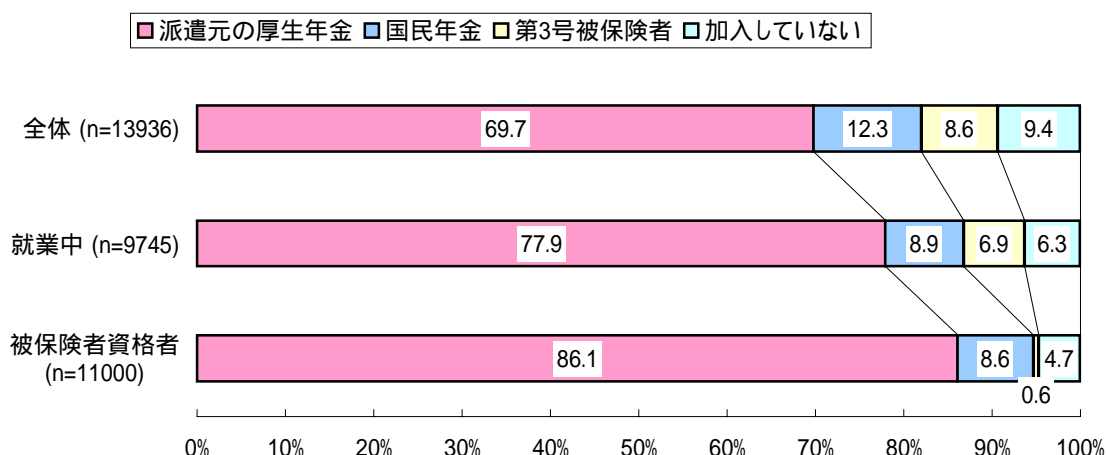


( 8 ) 公的年金には加入していますか(いましたか) ?

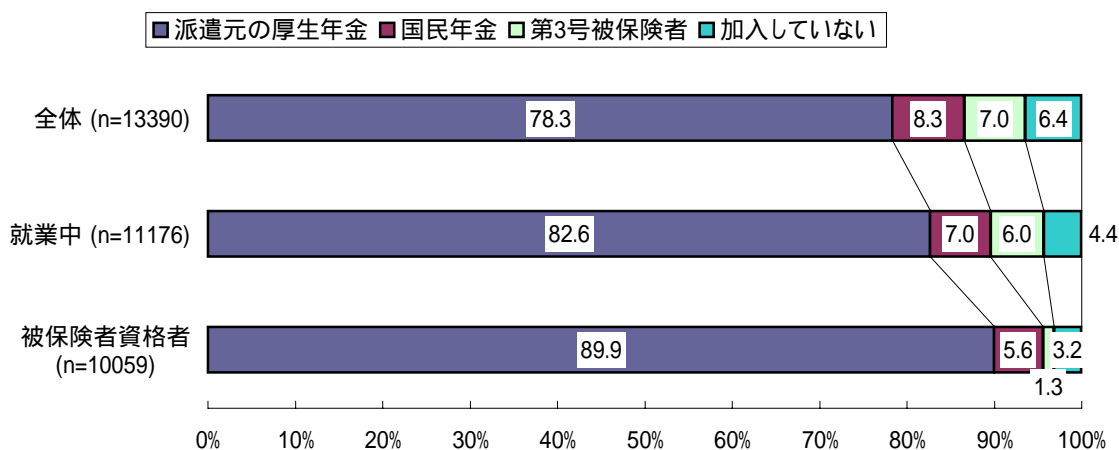
公的年金の加入は、回答者全体では、「派遣元会社の厚生年金(自分名義)に加入している」が最も多く69.7%である。  
 就業中をみると、「派遣元の厚生年金に加入している」が77.9%と上昇する。  
 さらに、健康保険の被保険者資格を満たさない働き方をしている人を除くと(今回のアンケートの調査項目中からは、4分の3基準に達しない「1日6時間未満」と「月16日未満」の就労を除いた)、「派遣元の厚生年金に加入している」が86.1%と高くなる。  
 前回と比べて、若干減少している。

被保険者資格があると推測できるにもかかわらず厚生年金に加入していない人が13.9%存在する。「国民年金」(8.6%)、「第3号被保険者」(0.6%)、「未加入」(4.7%)について、被保険者資格の有無を就労の実態から検証し、被保険者資格を満たす場合には加入の促進に努めなければならない。

平成20年度



平成19年度



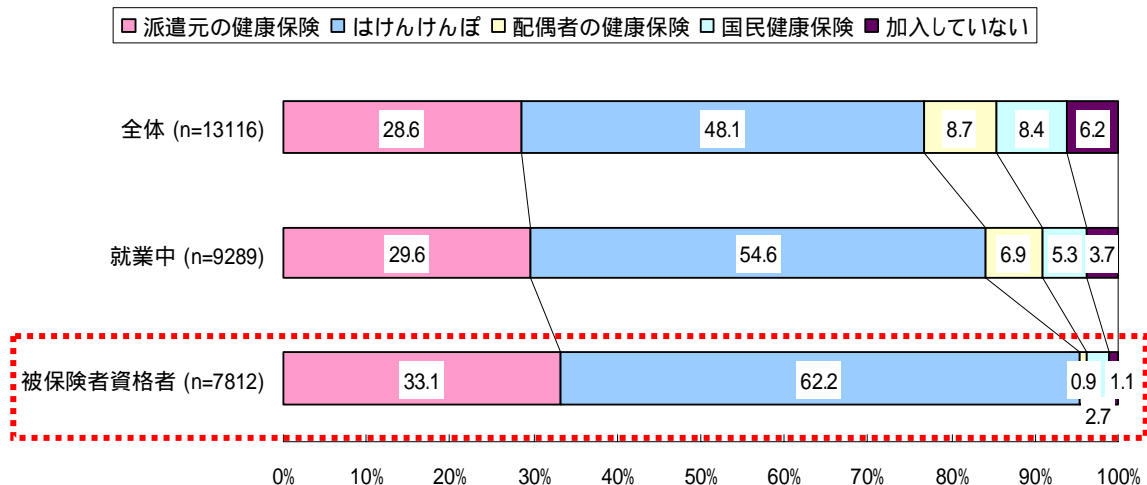
平成20年度の健康保険と公的年金を「事務・販売系」と「製造・軽作業系」で分けたところ、事務・販売系は被保険者資格有の加入率が健康保険（95.3%）、公的年金（90.6%）と上昇し、製造・軽作業系は下降（それぞれ67.0%、64.3%）する結果となった。

そのため、「事務・販売系」と「製造・軽作業系」を合わせると、「製造・軽作業系」の影響を受けて、減少したことがあげられる。

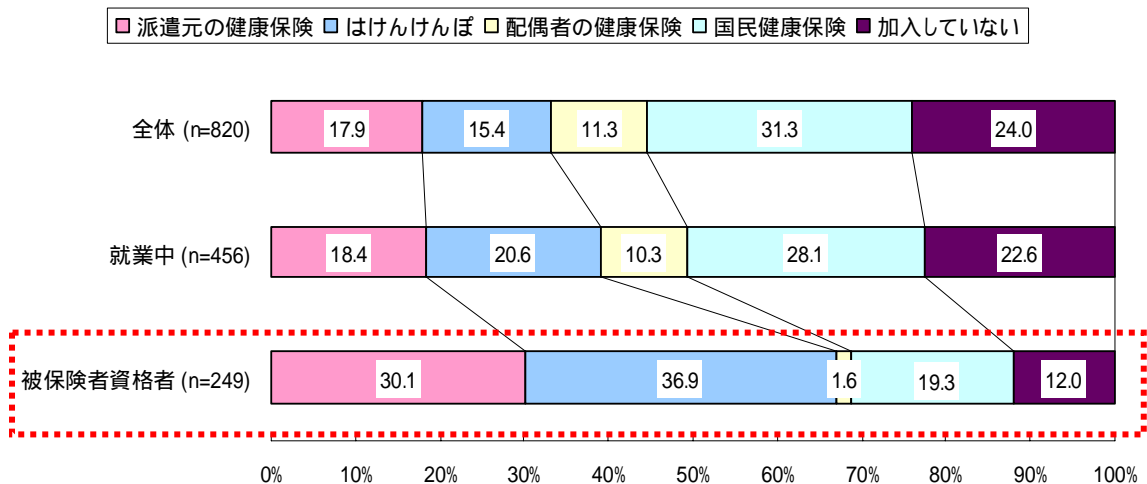
このように「事務・販売系」と「製造・軽作業系」に差が出るのは、「製造・軽作業系」では、「被保険者資格の適用要件の捕捉困難性」、「短期契約による取得・喪失の手続きの煩雑性」や「事務・販売系」でも言えるが「リーガルコストとしての認識に限界があること」などに起因していることも考えられる。

また、補足として、健康保険と公的年金に差が生じているのは、健康保険では人材派遣健康保険組合があることで、加入の促進が図られたことや公的年金と比べて相対的に保険料が低いことも要因と思われる。

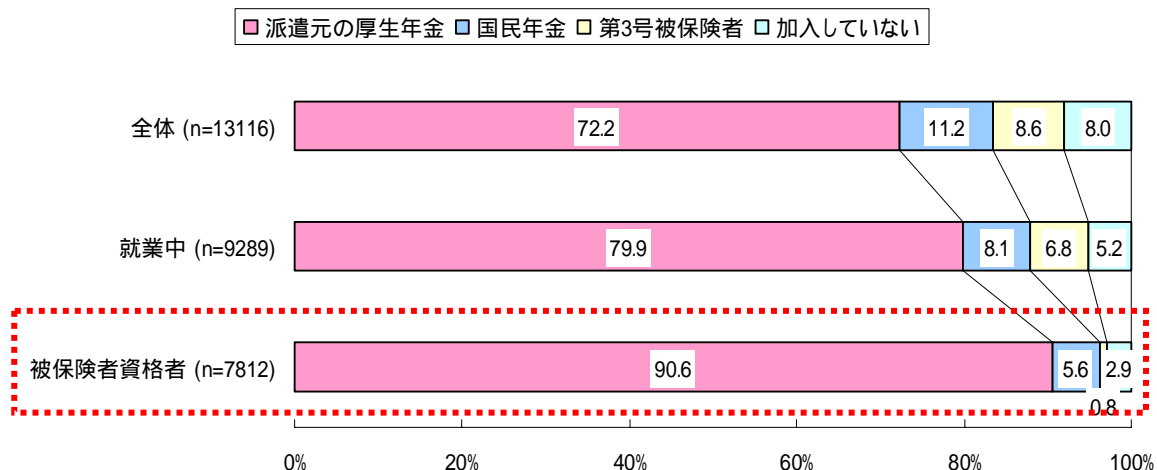
### 平成20年度事務・販売系（健康保険）



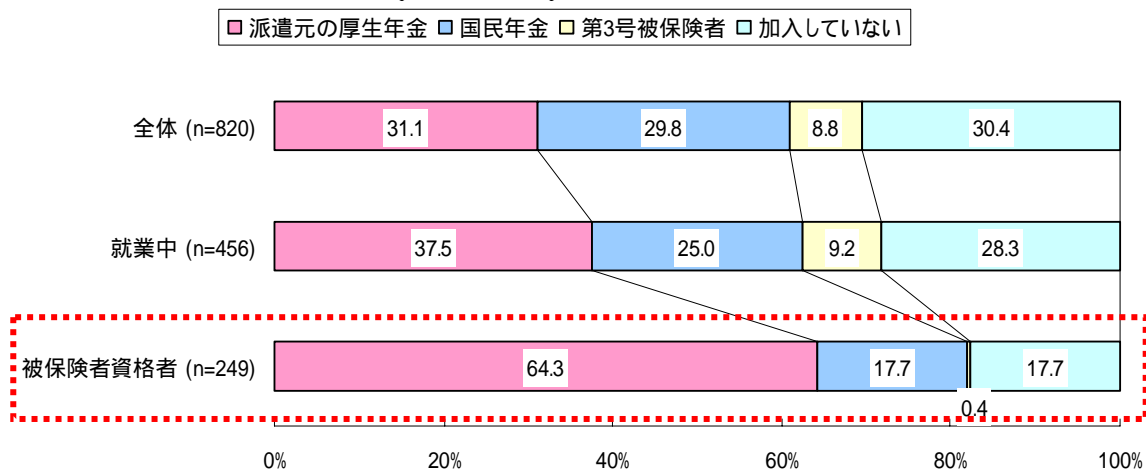
### 平成20年度製造・軽作業系（健康保険）



### 平成20年度事務・販売系（公的年金）



### 平成20年度製造・軽作業系（公的年金）



被保険者資格有の範囲については、アンケートの調査項目中、4分の3基準に達しないと思われる「1日6時間未満」と「月16日未満」の就労を除いた。

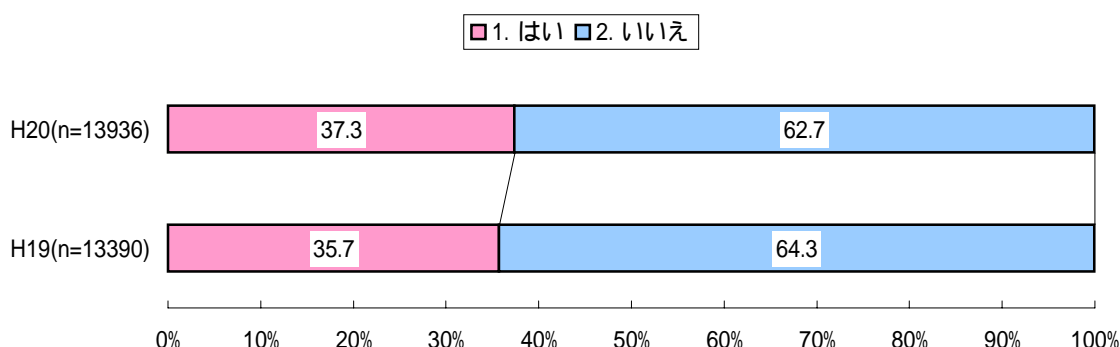
(9) 家計の主たる担い手ですか？

家計の主たる担い手は、「いいえ」が62.7%、「はい」が37.3%である。

性別で見ると、女性の場合、家計の主たる担い手は3割強に過ぎないが、男性の場合は、7割を占める。加えて、年齢が高くなるほど特に30歳以上では、家計の主たる担い手に占める割合も高くなる。

前回と比べて、男性の増加もあり、若干主たる担い手が増えている。

家族構成で見ると、独身(単身)の場合だけが、家計の主たる担い手となっている比率が高くなる。

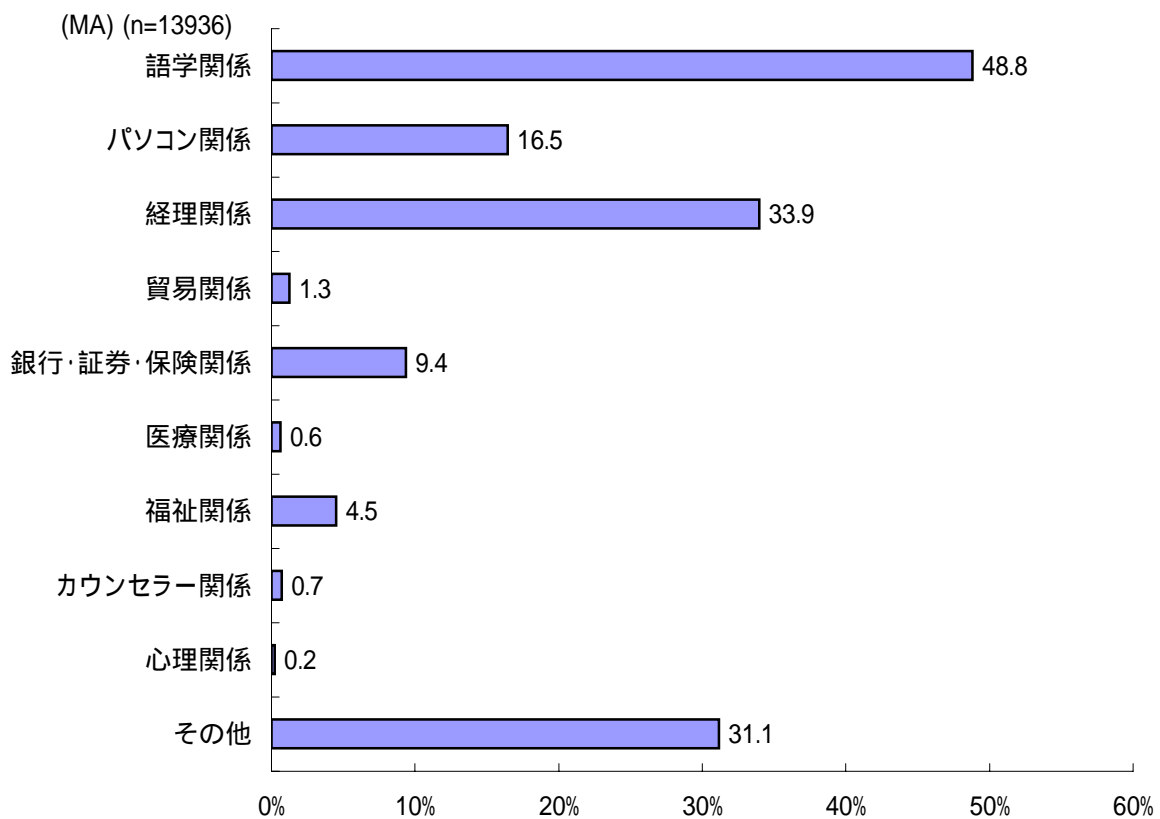


		調査数 (n)	全 体	は い	い い え
全 体		13,936	100.0	37.3	62.7
女性全体		12,375	100.0	33.2	66.8
男性全体		1,561	100.0	70.5	29.5
女性年齢別	19歳以下	28	100.0	7.1	92.9
	20～24歳	404	100.0	28.0	72.0
	25～29歳	2,006	100.0	28.9	71.1
	30～34歳	3,279	100.0	31.1	68.9
	35～39歳	3,137	100.0	36.0	64.0
	40～49歳	2,989	100.0	36.1	63.9
	50歳以上	532	100.0	33.8	66.2
男性年齢別	19歳以下	11	100.0	9.1	90.9
	20～24歳	113	100.0	30.1	69.9
	25～29歳	224	100.0	49.6	50.4
	30～34歳	310	100.0	61.0	39.0
	35～39歳	250	100.0	72.4	27.6
	40～49歳	371	100.0	84.9	15.1
	50歳以上	282	100.0	95.4	4.6
独身(単身)		4,163	100.0	74.6	25.4
独身(家族同居)		4,169	100.0	25.5	74.5
既婚		5,604	100.0	18.4	81.6

## Q. 5 能力開発・キャリア形成

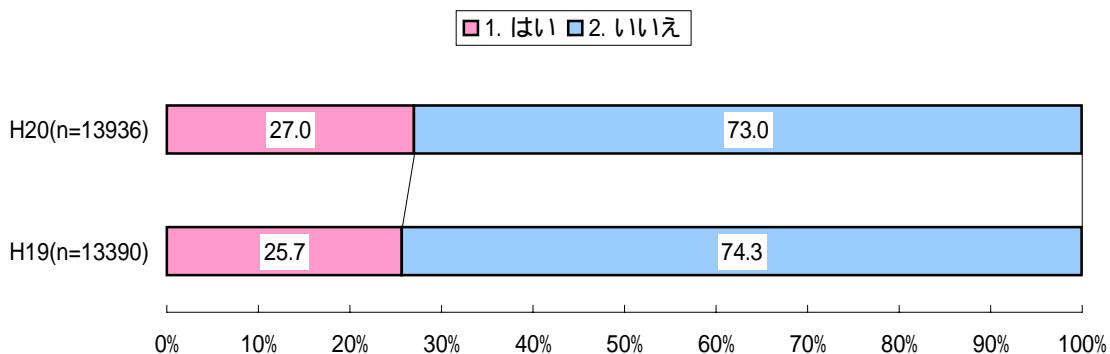
(1) 現在所有している資格があればお答えください。(複数回答可)

現在所有している資格をカテゴリー別でみると、「語学関係」が最も多く48.8%、次に「経理関係」(33.9%)、続いて「その他」(31.1%)(ex. 秘書技能検定、宅地建物取引主任者、医療事務等)である。



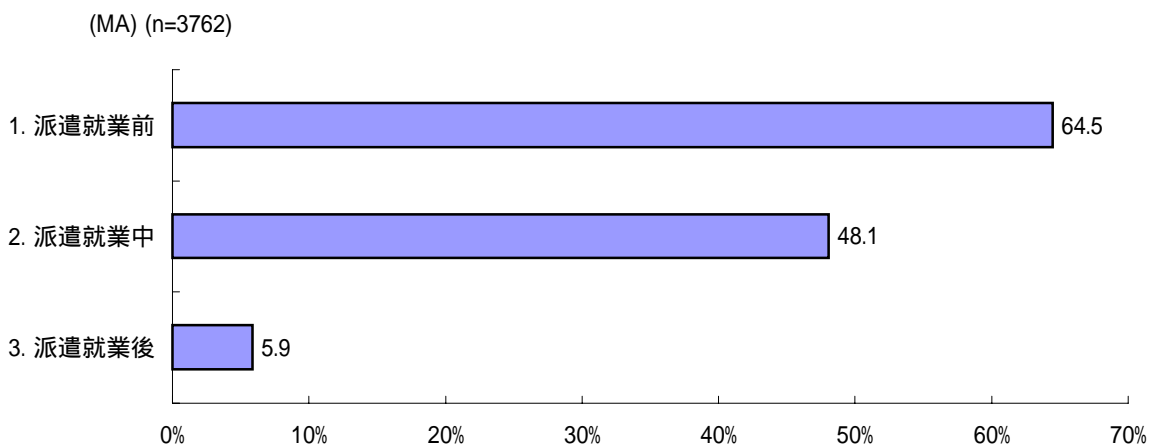
(2) 派遣会社で研修・教育訓練を受けたことはありますか？

派遣会社で研修・教育訓練を受けたことはありますかについては、「いいえ」が73.0%、「はい」が27.0%である。前回と比べて、「はい」が若干増加している。



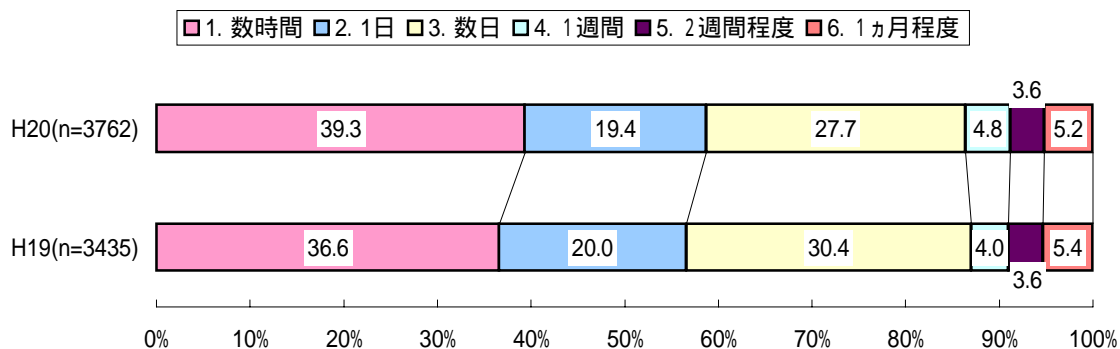
(2) で1を選択した方はお答えください。  
 (2) - a - a : 教育訓練はいつ頃行われましたか？

「研修・教育訓練を受けたことがある」との回答者に、いつ行われたかを尋ねた結果、「派遣就業前」が最も多く64.5%、次に「派遣就業中」(48.1%)である。



(2) - a - b : 教育訓練の期間はどのくらいでしたか？

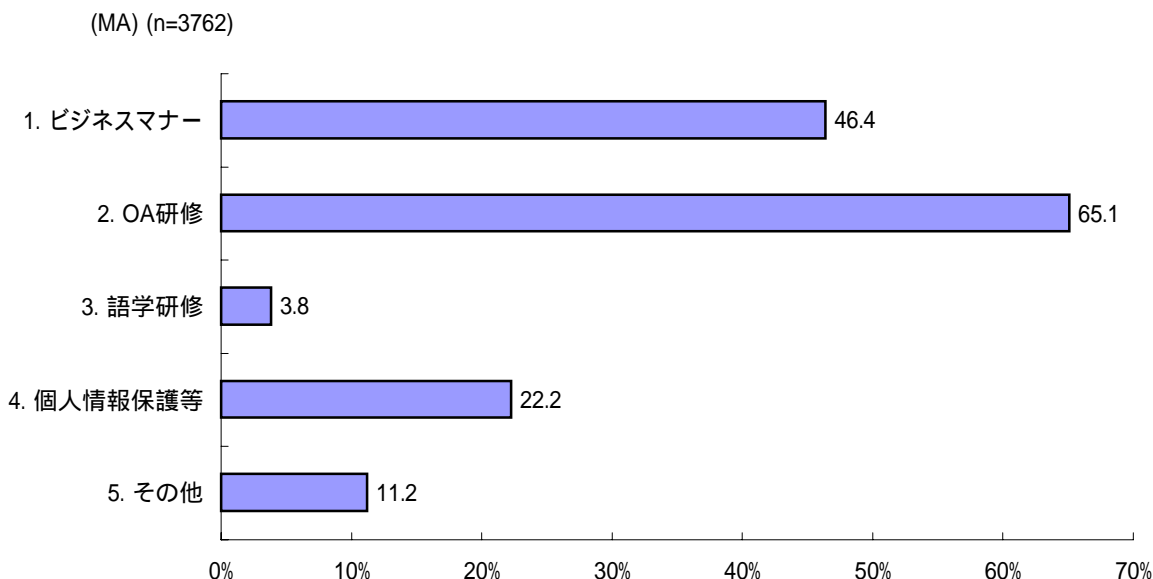
「研修・教育訓練を受けたことがある」との回答者に、期間を尋ねた結果、「数時間」が最も多く39.3%、次に「数日」(27.7%)、続いて「1日」(19.4%)である。前回と比べて、「数時間」が若干増加し、「数日」が若干減少している。





(2) - a - c : 教育訓練の内容はどのようなものでしたか？ (複数回答可)

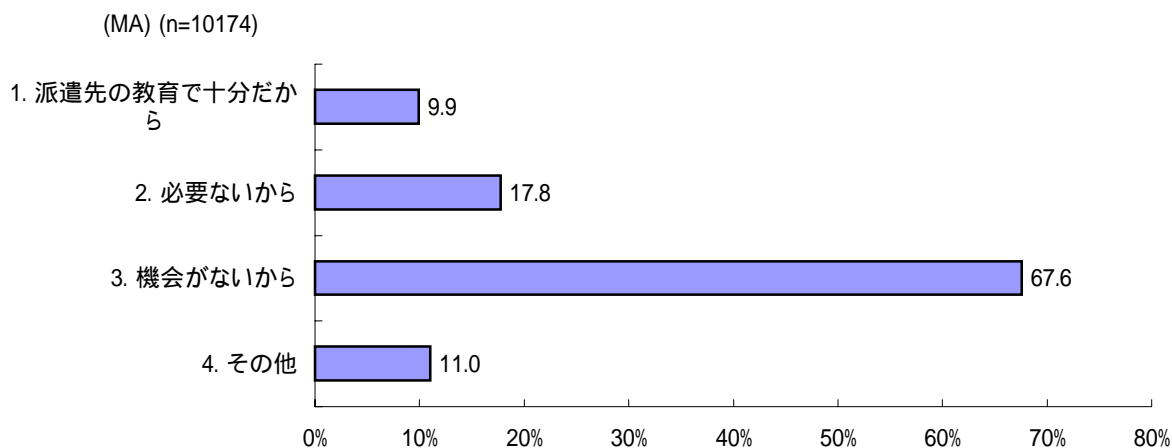
「研修・教育訓練を受けたことがある」との回答者に、内容を尋ねた結果、「OA研修」が最も多く65.1%、次に「ビジネスマナー」(46.4%)、続いて「個人情報保護法」(22.2%)である。



(2) で 2 を選択した方はお答えください。

(2) - b - a : 教育訓練を受けない (受けなかった) のはなぜですか？  
今回新設した設問 (複数回答可)

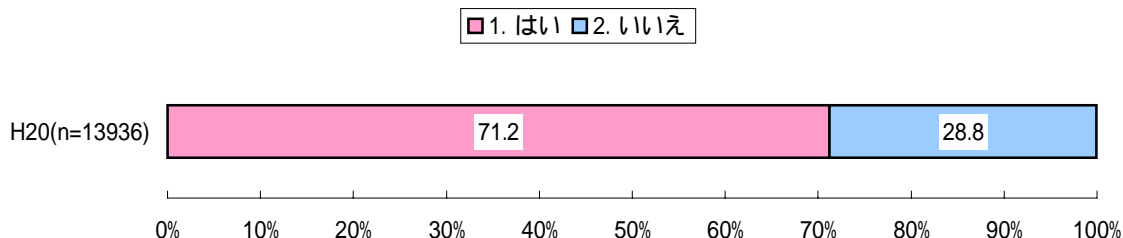
「研修・教育訓練を受けたことがない」との回答者に、理由を尋ねた結果、「機会がないから」が67.6%と大きく他を上回った。派遣会社としては、派遣スタッフが教育訓練を希望した場合に備えて、施策を効果的に講じる必要がある。



(3) 能力開発・キャリア形成を希望していますか？

今回新設した設問

能力開発・キャリア形成を希望の有無をみると、「はい」が71.2%と多く、「いいえ」は28.8%である。

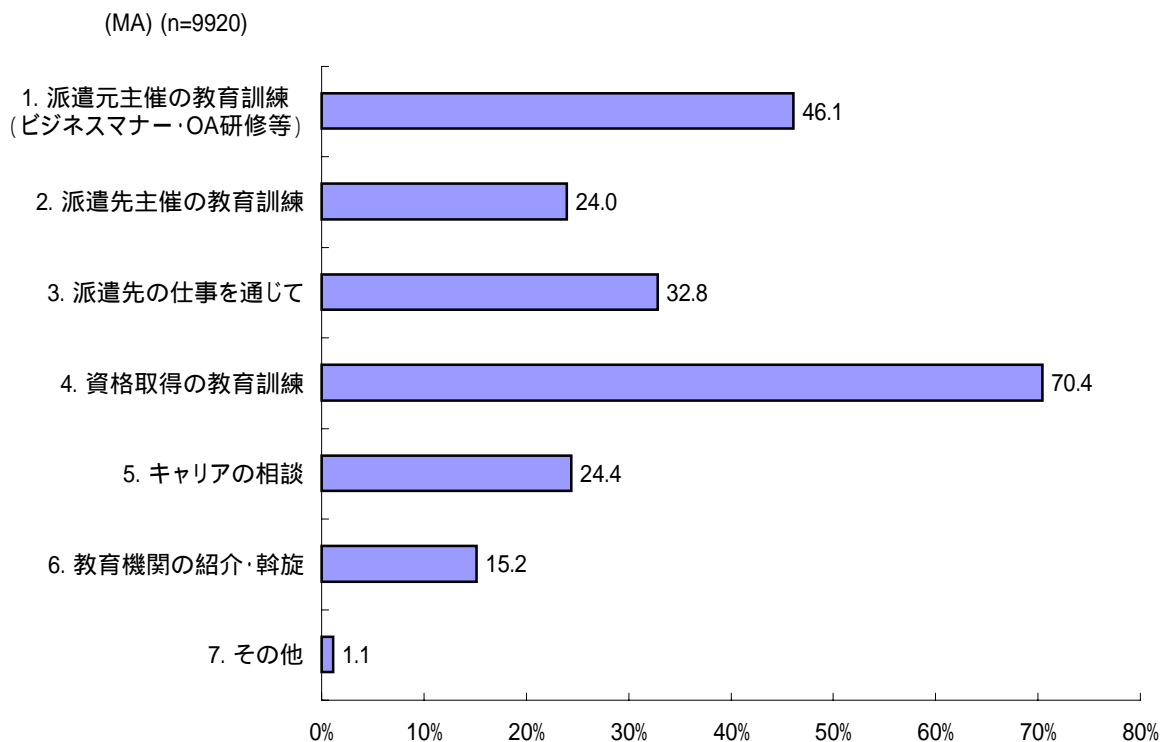


(3) で 1 を選択した方はお答えください。

(3) - a : どのような内容を希望しますか？ (複数回答可)

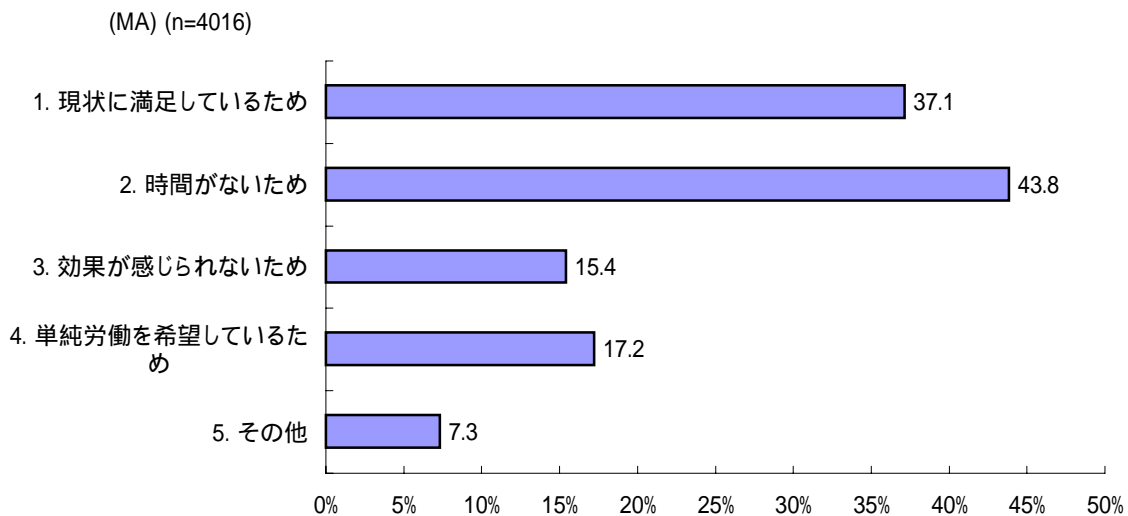
今回新設した設問

「能力開発・キャリア形成を希望する」との回答者に、どのような内容を希望するか尋ねた結果、「資格取得の教育訓練」が70.4%、次に「派遣元主催の教育訓練」(46.1%)、続いて「派遣先の仕事を通じて」(32.8%)である。



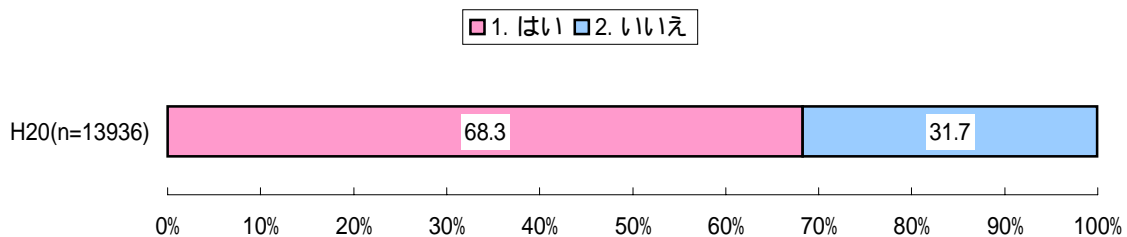
(3) で2を選択した方はお答えください。  
 (3) - b : 希望しないのはなぜですか？(複数回答可)  
 今回新設した設問

「能力開発・キャリア形成を希望しない」との回答者に、希望しない理由を尋ねた結果、「時間がないため」が43.8%、次に「現状に満足しているため」(37.1%)、続いて「単純労働を希望しているため」(17.2%)である。「時間がないためとの回答者」には、時間があれば希望することもあることから、スタッフとのコミュニケーションの中で話し合うことも必要である。



(4) 派遣就労したことでスキルアップできる(できた)と感じますか？  
 今回新設した設問

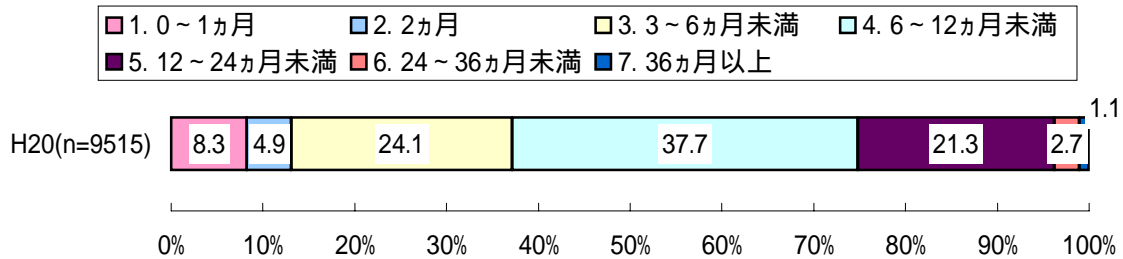
スキルアップは、「はい」が68.3%、「いいえ」が31.7%である。



(4)で1を選択した方はお答えください。  
 (4) - a : スキルアップができる(できた)と実感するには就労後どのくらいの期間が必要ですか？

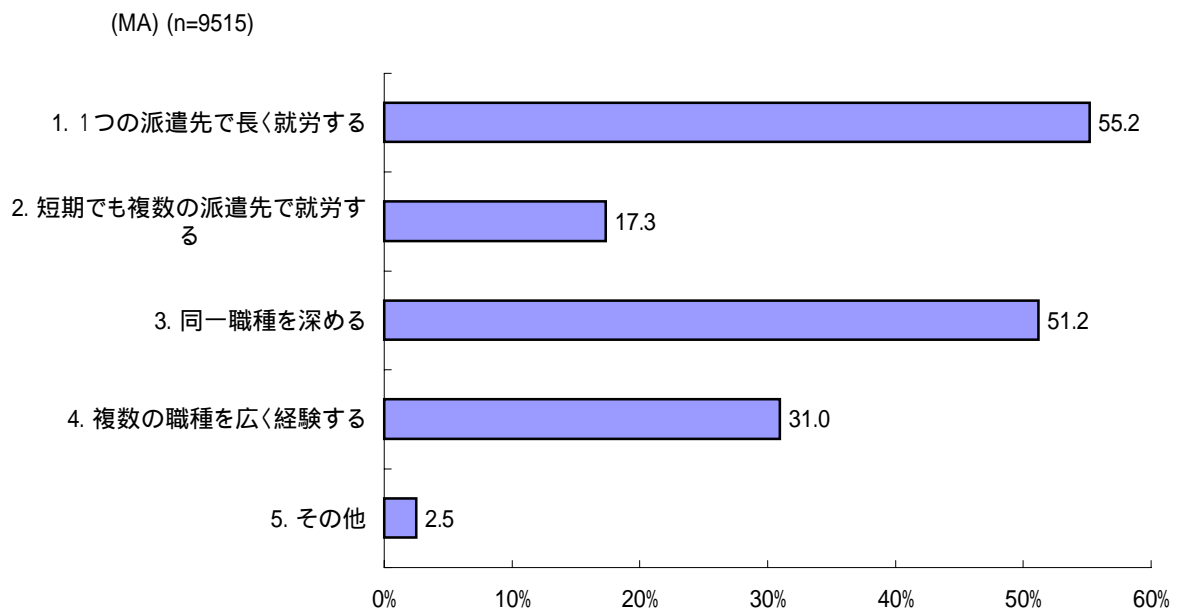
今回新設した設問

「派遣就労したことでスキルアップできる(できた)」との回答者に、実感するまでの期間を尋ねた結果、「6~12ヵ月(1年)未満」が最も多く37.7%、次に「3~6ヵ月未満」(24.1%)、続いて「12~24ヵ月(2年)未満」(21.3%)である。



(4) - a - a : あなたが希望するスキルアップの方法を教えてください。  
 (複数回答可)

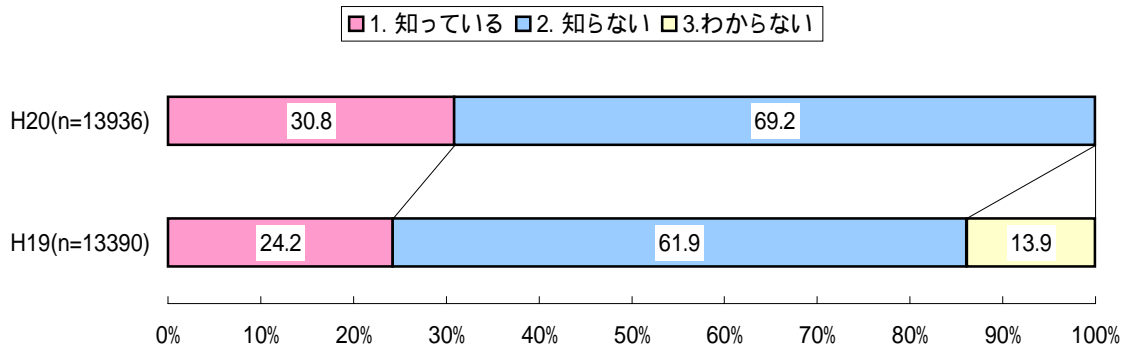
「派遣就労したことでスキルアップできる(できた)」との回答者に、スキルアップ方法を尋ねた結果、「1つの派遣先で長く就労する」が最も多く55.2%、次に「同一職種を深める」(51.2%)、続いて「複数の職種を広く経験する」(31.0%)である。同じところで「長く」「深める」ことが派遣就業でスキルアップしていく上で重要であることがうかがえる。



## Q. 6 派遣法に関すること

(1) 派遣で働ける業務には、専門性の高い26業務と26業務以外の業務があることをご存知ですか？

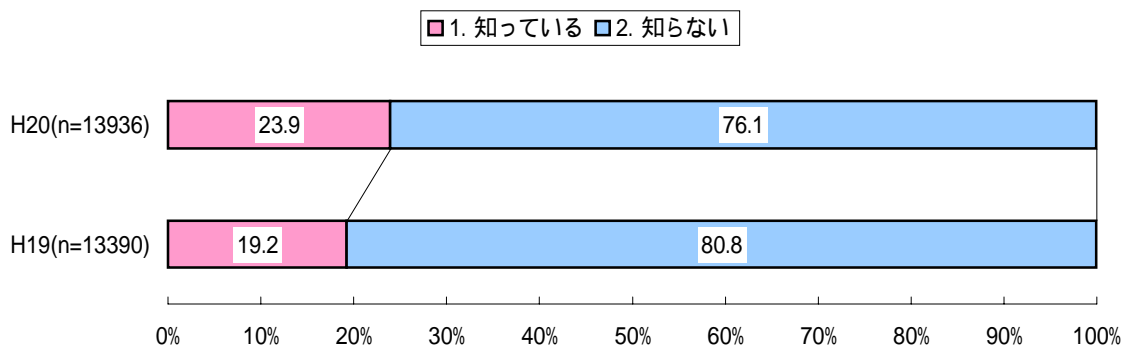
派遣で働ける業務の区分の知識は、「知らない」が69.2%、「知っている」が30.8%である。  
前回と比べて、「知っている」の割合が若干増加している。



今回から前回あった「わからない」という回答選択肢を削除。

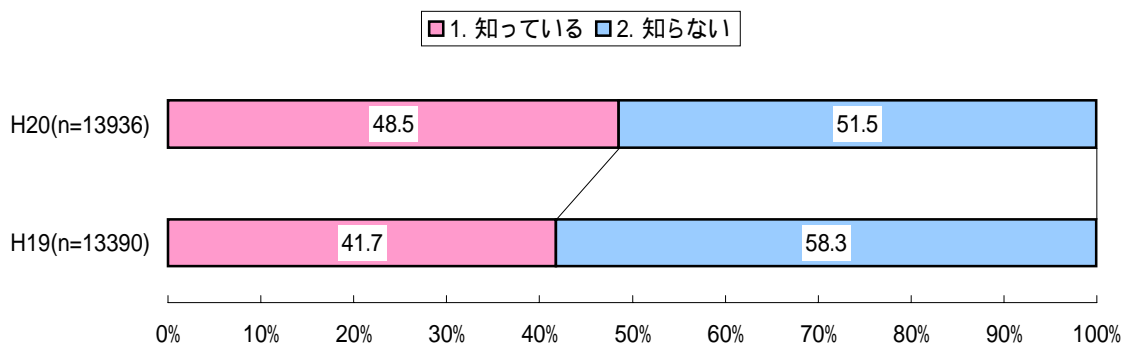
(2) 26業務の場合、派遣で働ける期間に制限がないことをご存知ですか？

26業務の場合、派遣で働ける期間制限の知識は、「知らない」が76.1%、「知っている」が23.9%である。  
前回と比べて、「知っている」の割合が若干増加している。



( 3 ) 26業務以外の場合、派遣で働ける期間が同じ就業先で最大3年であることはご存知ですか？

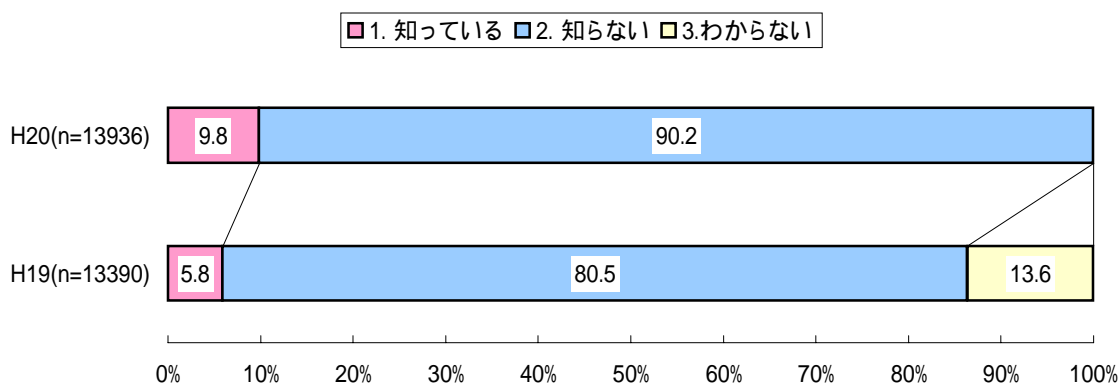
26業務以外の場合、派遣で働ける期間制限最大3年の知識は、「知らない」が51.5%、「知っている」が48.5%である。  
前回と比べて、「知っている」の割合が若干増加している。



( 4 ) 26業務と26業務以外の業務が混在する場合、各業務の割合によって、派遣で働ける期間が異なることはご存知ですか？

混在業務の場合、各業務の割合によって派遣で働ける期間が異なることの知識は、「知らない」が90.2%、「知っている」が9.8%である。  
前回と比べて、「知っている」の割合が若干増加している。

派遣法に関する質問を通して、派遣労働者が労働者派遣法について理解が薄いことが判明した。派遣会社としては、周知の機会を設けていかなければならない。

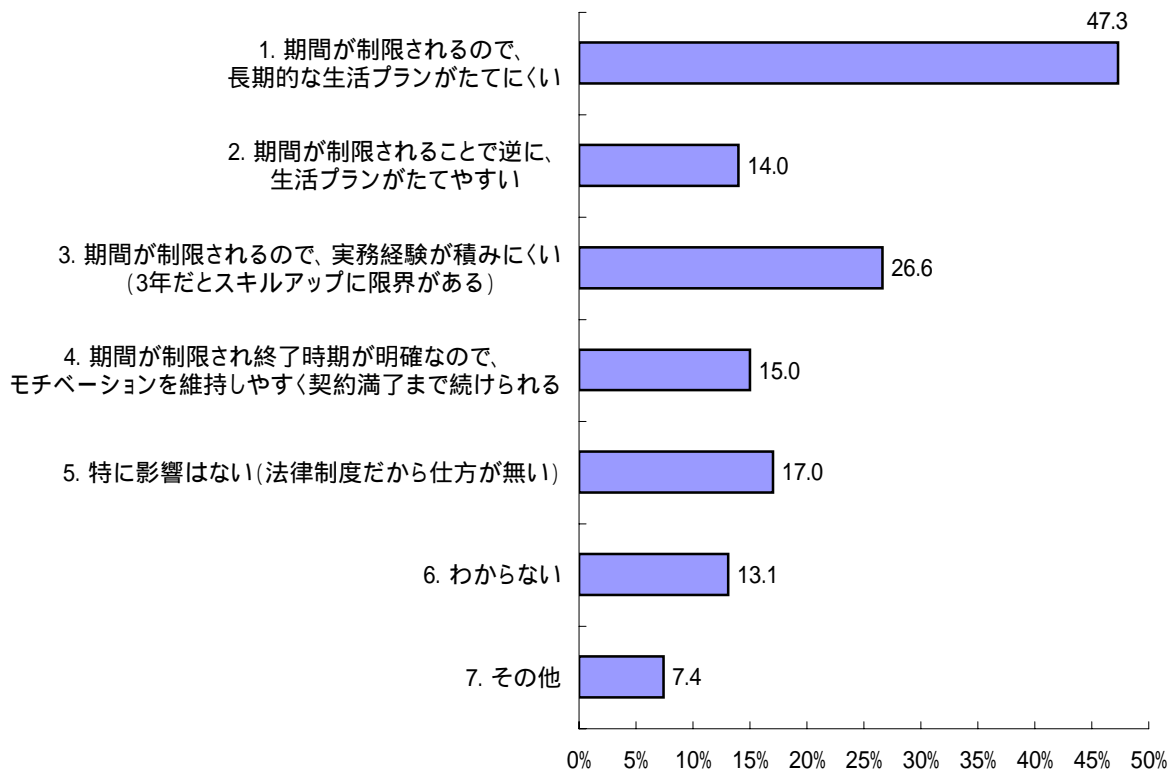


今回から前回あった「わからない」という回答選択肢を削除。

( 5 ) 派遣で働ける期間が制限されていることについてどうお考えですか？  
( 複数回答可 )

派遣で働ける期間が制限されていることについて(複数回答)は、「期間が制限されるので、長期的な生活プランがたてにくい」が最も多く47.3%、次に「期間が制限されるので、実務経験が積みにくい(3年だとスキルアップに限界がある)」(26.6%)、続いて「特に影響はない(法律制度だから仕方が無い)」(17.0%)、「期間が制限され終了時期が明確なので、モチベーションを維持しやすく契約満了まで続けられる」(15.0%)である。

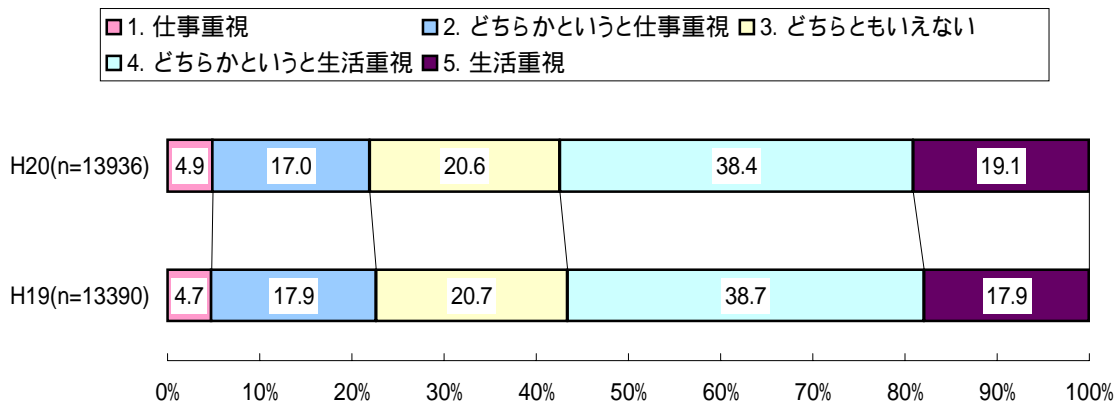
(MA) (n=13936)



## Q.7 仕事と生活のバランス

(1) 仕事と生活を比べると、どちらを重視していますか？

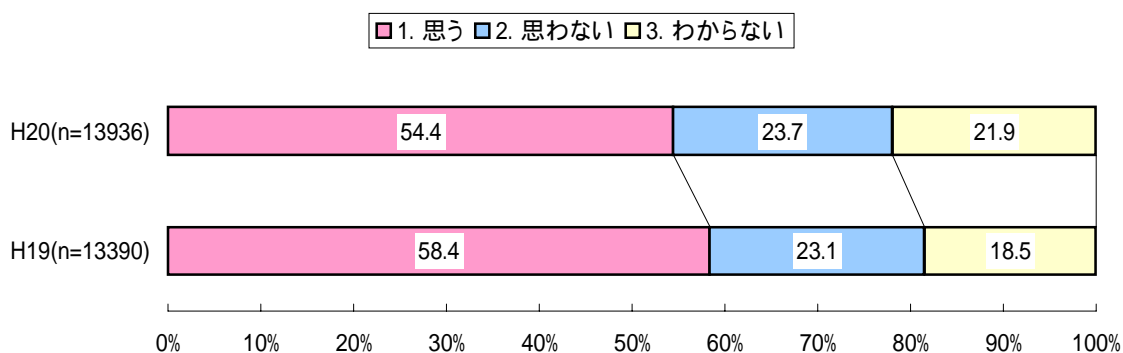
仕事と生活のどちらを重視しているかについては、「どちらかという让生活重視」と「生活重視」を合わせて57.5%、「仕事重視」と「どちらかという仕事重視」を合わせて21.9%で、「仕事重視」よりも「生活重視」を考えている派遣スタッフが多いことがうかがえる。前回と比べて、「生活重視」の割合が若干増加している。





(2) 派遣という働き方は、仕事と生活のバランスを取りやすい働き方だと思いますか？

仕事と生活のバランスが取りやすい働き方であるかは、「思う」が54.4%、「思わない」が23.7%である。  
前回と比べて、「思う」の割合が若干減少している。



## Q. 8 派遣で働いていることへの満足度

派遣で働いていることへの満足度をみていく。

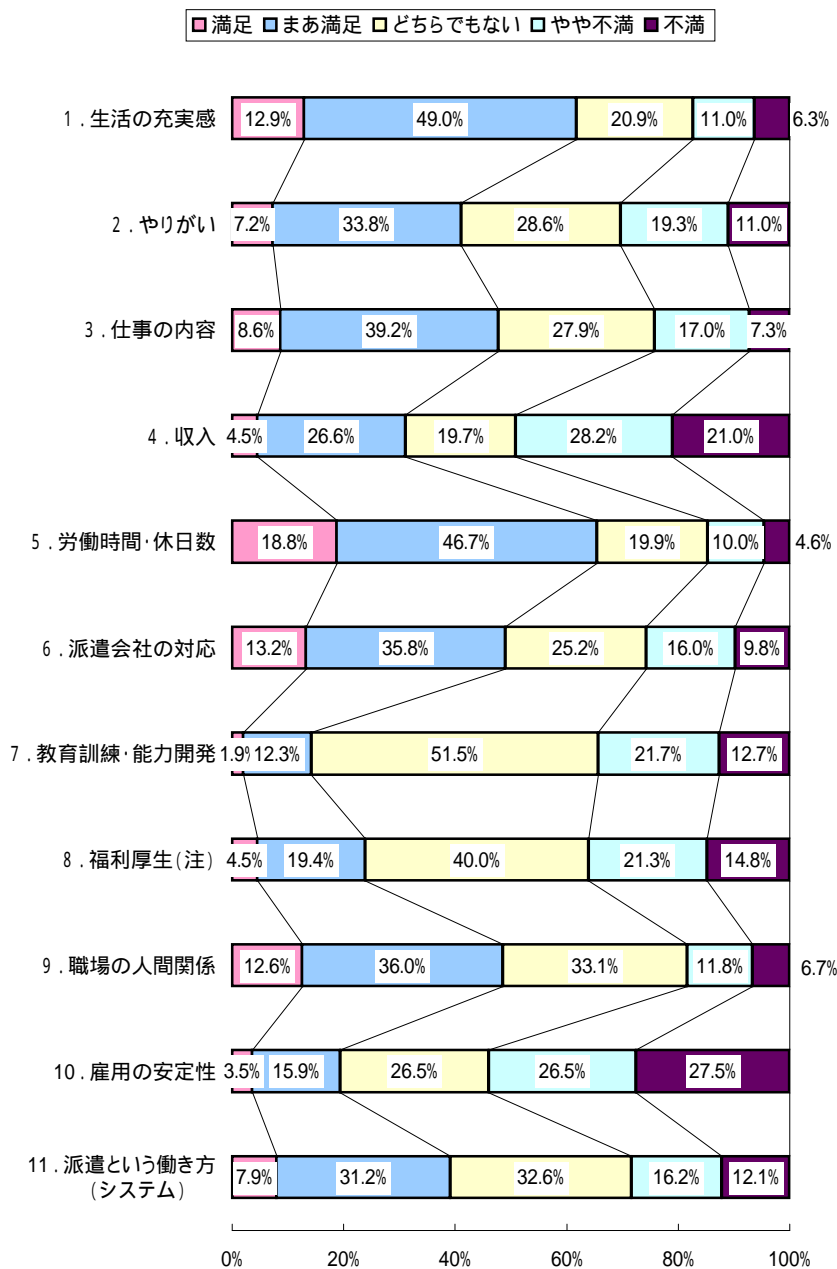
満足度が高いのは、「5. 労働時間・休日数」64.9ポイント（満足18.8%、まあ満足46.7%、満足計 65.5%）、「1. 生活の充実感」51.1ポイント（満足12.9%、まあ満足49.0%、満足計 61.9%）、「9. 職場の人間関係」36.0ポイント（満足12.6%、まあ満足36.0%、満足計 48.6%）、「6. 派遣会社の対応」26.8ポイント（満足13.2%、まあ満足35.8%、満足計 49.0%）、「3. 仕事の内容」24.9ポイント（満足8.6%、まあ満足39.2%、満足計 47.8%）、「2. やりがい」7.0ポイント（満足7.2%、まあ満足33.8%、満足計 41.1%）、「11. 派遣という働き方（システム）」6.5ポイント（満足7.9%、まあ満足31.2%、満足計 39.1%）である。

満足度が低いのは、「10. 雇用の安定性」-58.5ポイント（やや不満26.5%、不満27.5%、不満計 54.0%）、「4. 収入」-34.6ポイント（やや不満28.2%、不満21.0%、不満計 49.2%）、「7. 教育訓練・能力開発」-30.9ポイント（やや不満21.7%、不満12.7%、不満計 34.4%）、「福利厚生」-22.5ポイント（やや不満21.3%、不満14.8%、不満計 36.1%）である。

以上の満足度指数（ポイント）を、「派遣を選んだ理由（Q. 2（2）」中の「正社員として働ける就職先がなかったため」とクロスさせると、全体の満足度の高いポイントは総じて低くなり、満足度がマイナスになる項目はよりマイナスになる。更に、「2. やりがい」や「11. 派遣という働き方（システム）」では、全体ではプラスであるが、マイナスとなる。

他方、「正社員として働ける就職先がなかったため」を除き、派遣を積極的に選択したと思われる理由とのクロスでは、逆の指数となる。具体的には、「1. 生活の充実感」「2. やりがい」「3. 仕事の内容」「5. 労働時間・休日数」「6. 派遣会社の対応」「9. 職場の人間関係」「11. 派遣という働き方（システム）」で満足度が大きくプラスとなっている。派遣元としては、派遣就労を選択した理由や動機に着目し、適切な対応をする必要がある。

満足度指数（ポイント）の算定は、回答者の中に占める各満足・不満足の数合いを選択した人数の割合（%）を出し、一定の指数を乗じて、それぞれを合計した数値である。計算上は、最大+200から最小-200の幅がある。



派遣を選んだ理由

合計	正社員以外	正社員
51.1	70.9	14.0
7.0	19.3	-16.1
24.9	33.8	8.2
-34.6	-13.6	-74.3
64.9	73.0	49.6
26.8	37.1	7.4
-30.9	-21.4	-48.7
-22.5	-17.1	-32.7
36.0	43.3	22.3
-58.5	-38.4	-96.3
6.5	33.0	-43.2

ポイント幅:  
[+200 ← → -200]

ポイント算出式:

$$\begin{aligned}
 & \text{満足の割合}(\%) \times 2 \\
 & \text{まあ満足の割合}(\%) \times 1 \\
 & \text{どちらでもないの割合}(\%) \times 0 \\
 & \text{やや不満の割合}(\%) \times -1 \\
 & \text{不満の割合}(\%) \times -2
 \end{aligned}$$

合計

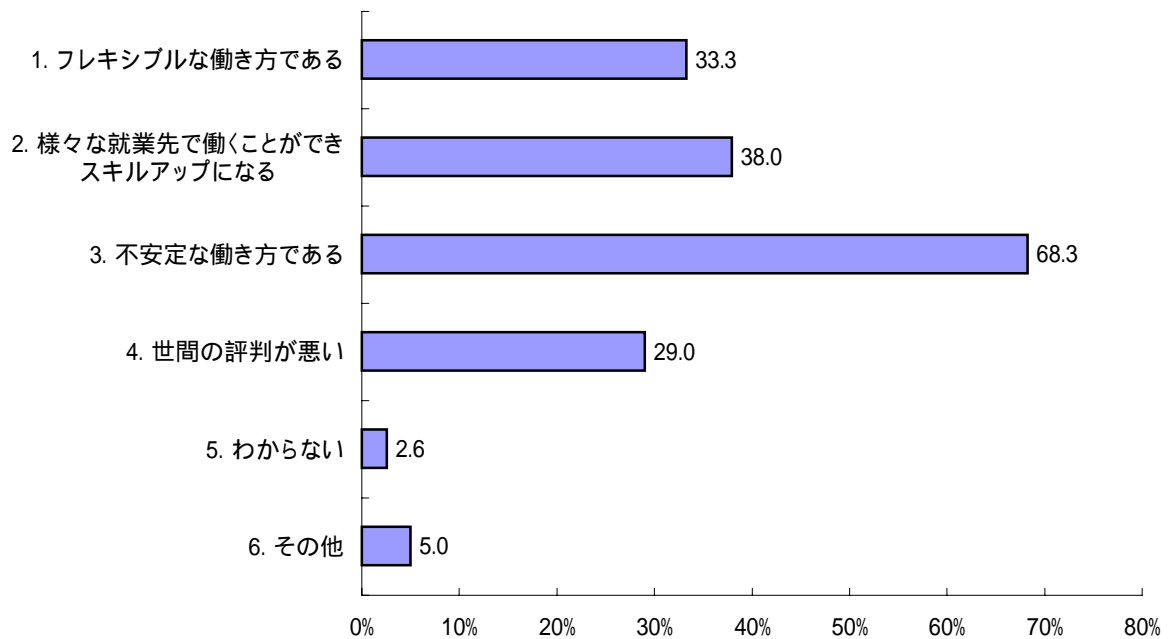
注: ここの「福利厚生」とは法定の社会保険等ではなく、保養所・社員食堂など施設の利用等である

Q. 9 派遣に対するイメージについてお答えください。

(1) 派遣という働き方にどのようなイメージをお持ちですか？(複数選択可)

派遣のイメージは、「不安定な働き方である」が最も多く68.3%、次に「様々な就業先で働くことができスキルアップになる」(38.0%)、続いて「フレキシブルな働き方である」(33.3%)である。

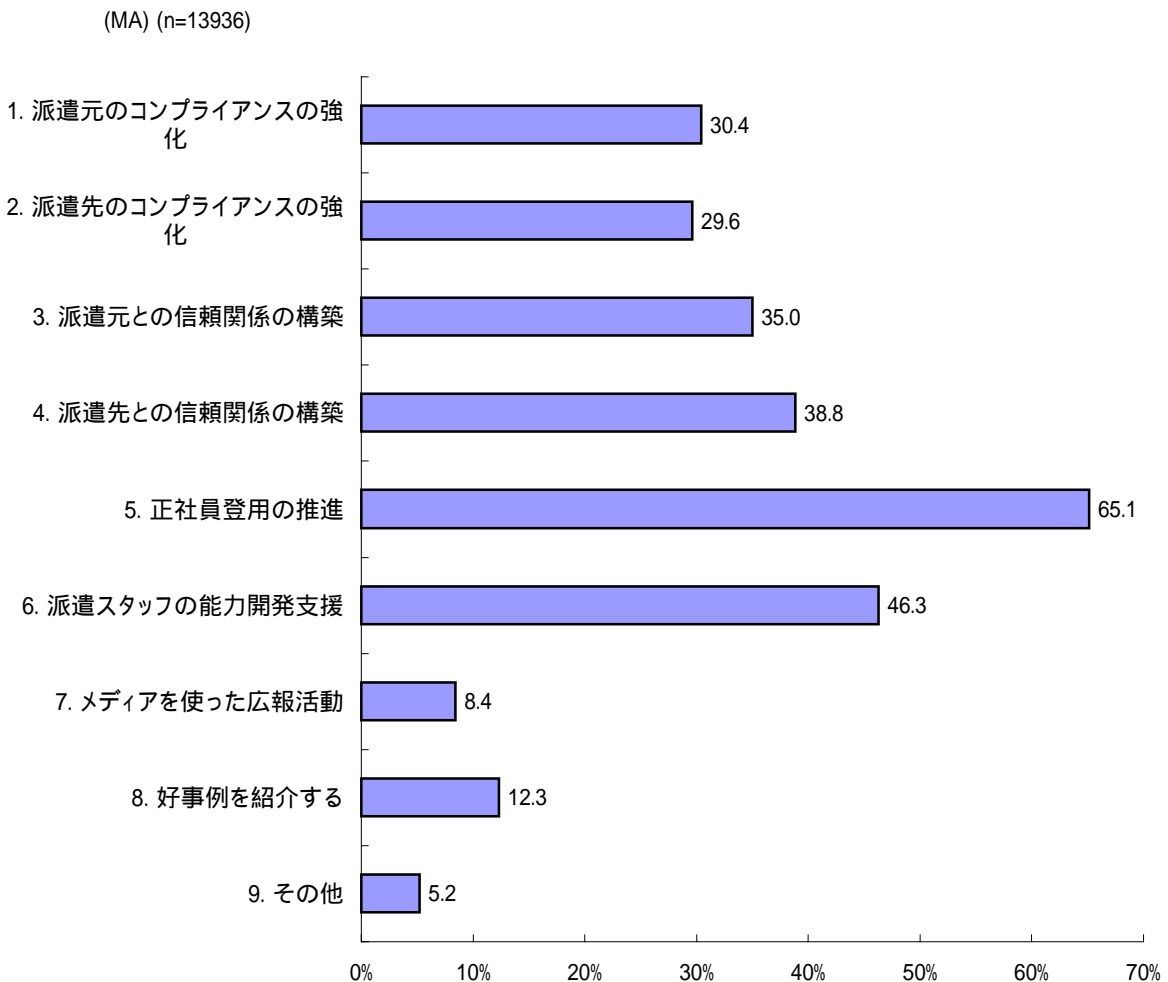
(MA) (n=13936)



(2) 「派遣」の社会的地位を向上させるにはどのような方策が必要と思いますか？  
(複数選択可)

社会的地位の向上の方策は、「正社員登用の推進」が65.1%、次に「派遣スタッフの能力開発支援」(46.3%)、続いて「派遣先との信頼関係の構築」(38.8%)である。

『労働者派遣事業の適正な運営に向けて(2008)』で「正社員としての就業を希望する派遣労働者の支援」をしていくこととして掲げていることから、派遣というシステムが「直接雇用への橋渡し」として機能するように積極的に応えていくことが肝要である。また、「労働内容に応じた賃金の確保と能力開発支援」も掲げており、スタッフの能力開発を促進し、派遣就労を通じて有意義なキャリア形成を実現させることが必要と考えられる。



労働者派遣事業の適正な運営に向けて(2008) <http://www.jassa.jp/association/rule/2008.html>

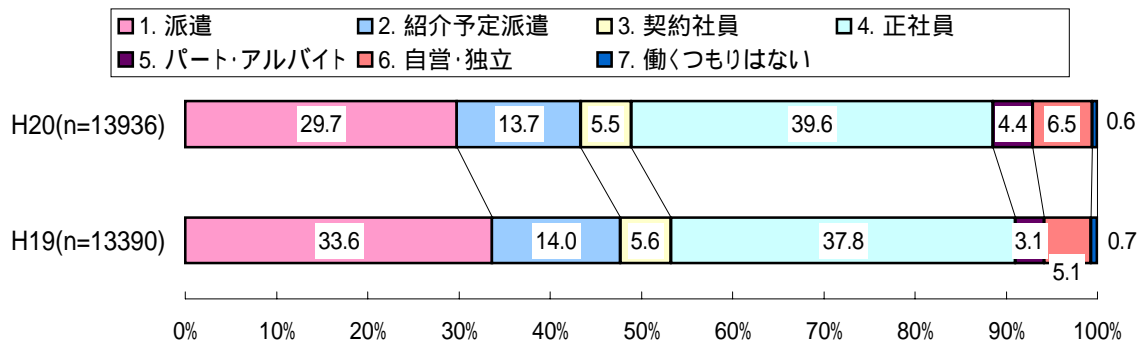
## Q. 10 今後の希望する働き方について

### (1) 今後、どのような働き方を望みますか？

今後、どのような働き方を希望するかは、「正社員」が最も多く39.6%、次に「派遣」(29.7%)、続いて「紹介予定派遣」(13.7%)、「自営・独立」(6.5%)である。

希望する働き方を集約すると、「派遣を希望」するが43.4%、「直接雇用を希望」するが49.5%と分かれる。ただし、派遣を希望中には紹介予定派遣の13.7%も含まれていることから、派遣労働者のキャリアデザインを尊重し、支援できる体制を作らなければならない。

前回と比べて、「派遣」を希望する派遣スタッフが若干減少している。



希望する働き方を集約した項目として、  
 「派遣を希望」は、「派遣」「紹介予定派遣」を含み、  
 「直接雇用を希望」は、「正社員」「契約社員」「パート・アルバイト」を含む。

「今後の働き方」と「派遣を選択した理由」との相関関係をみると、どんな理由で派遣を選択しても、「紹介予定派遣」、「契約社員」、「パート・アルバイト」を希望する回答者は割合的にはほとんど差がない。しかし、「選択肢の多様性や自由度」を求めて派遣を選択した回答者は今後の働き方としても「派遣」を希望する率が高く、逆に、「有名企業・大企業で働けるため」「正社員として働ける就職先がなかったため」「就職活動のつなぎに働けるため」を理由に派遣を選択した人は、「正社員」になることを希望する率が高いことが分かる。

### 今後の働き方

	調査数 (n)	全 体	派 遣	紹 介 予 定 派 遣	契 約 社 員	正 社 員	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	自 営 ・ 独 立	働 く つ も り は な い
全 体	13,936	100.0	29.7	13.7	5.5	39.6	4.4	6.5	0.6
専門的スキルを活かせるため	2,137	100.0	31.4	15.9	6.2	35.2	2.7	8.2	0.5
時間を有効に活用できるため	5,173	100.0	37.2	12.8	5.7	29.6	5.5	8.6	0.6
働く期間・時間を自分で決められるため	6,473	100.0	38.7	12.8	5.5	28.8	6.0	7.7	0.6
多数の中からやりたい仕事を選べるため	4,282	100.0	35.9	17.0	5.8	31.6	3.9	5.7	0.3
生活設計がしやすいため	1,455	100.0	41.4	12.8	6.0	24.4	5.8	9.2	0.4
勤務地を自分で選べるため (通勤時間が短いため)	4,306	100.0	39.0	15.1	6.1	29.3	4.5	5.6	0.4
職場の人間関係に拘束されないため	3,192	100.0	39.5	14.9	6.5	27.3	4.0	7.5	0.4
有名企業・大企業で働けるため	2,351	100.0	30.2	17.0	5.1	40.8	2.1	4.6	0.3
正社員として働ける就職先がなかったため	4,840	100.0	14.1	16.0	5.1	58.0	1.7	4.7	0.4
賃金が高いため	2,921	100.0	36.2	12.2	5.0	34.1	5.6	6.4	0.5
勤務評価が適切なため	369	100.0	43.1	14.6	5.4	26.8	3.0	6.2	0.8
スキルアップになるため	2,831	100.0	31.1	18.4	4.6	37.0	2.6	5.9	0.3
教育訓練があるため	451	100.0	33.7	19.7	5.3	31.0	3.3	6.9	-
就職活動のつなぎに働けるため	2,031	100.0	9.6	15.5	4.4	60.7	2.6	7.2	-
組織にしばられないため	2,911	100.0	41.1	14.1	6.3	25.3	3.3	9.4	0.6
ライフスタイルが変わったため (結婚、子育て、定年等)	3,062	100.0	40.2	11.2	6.3	27.6	6.9	7.2	0.6
その他	614	100.0	23.5	12.4	6.8	43.3	3.3	9.4	1.3

### 派遣を選択した理由

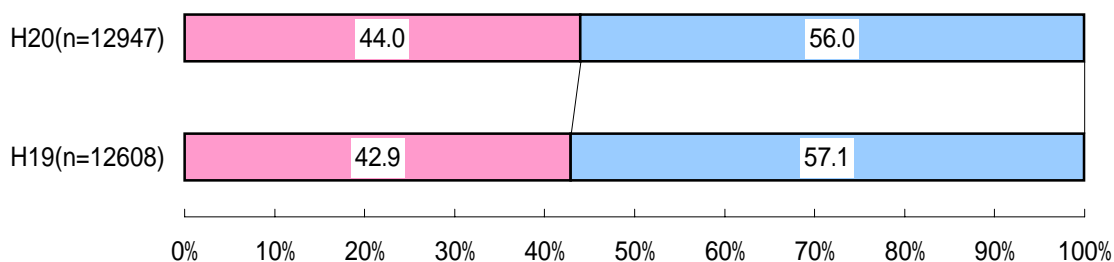
- (1)で 1.派遣 2.紹介予定派遣 3.契約社員 4.正社員  
5.パート・アルバイトを選択した方はお答えください。  
(1) - aそれは現在(または直近)の就業先ですか?

働き方の希望で「派遣」「紹介予定派遣」「契約社員」「正社員」「パート・アルバイト」との回答者に、現在の就業先を希望しているかを尋ねた結果、「いいえ(現在または直近の就業先以外を希望)」が56.0%、「はい(現在または直近の就業先を希望)」が44.0%である。前回と比べて、「現在または直近の就業先を希望」の割合が増加している。

この結果を「働き方の希望別」にみると、「引き続き、派遣を希望する回答者」は「現在または直近の就業先」を希望する割合が多く、62.1%を占める。全体の結果とは異なり、同一の職場で長く働きたいとする人達が6割を超える。

他方、「将来、紹介予定派遣を希望する回答者」は、「現在または直近の就業先以外」を希望する割合が最も多く、72.4%である。紹介予定派遣を希望する回答者の現在の就業環境に配慮しなければならない。「正社員」「パート・アルバイト」がその後続く。

■ 1. はい(現在または直近の就業先を希望) ■ 2. いいえ(現在または直近の就業先以外を希望)



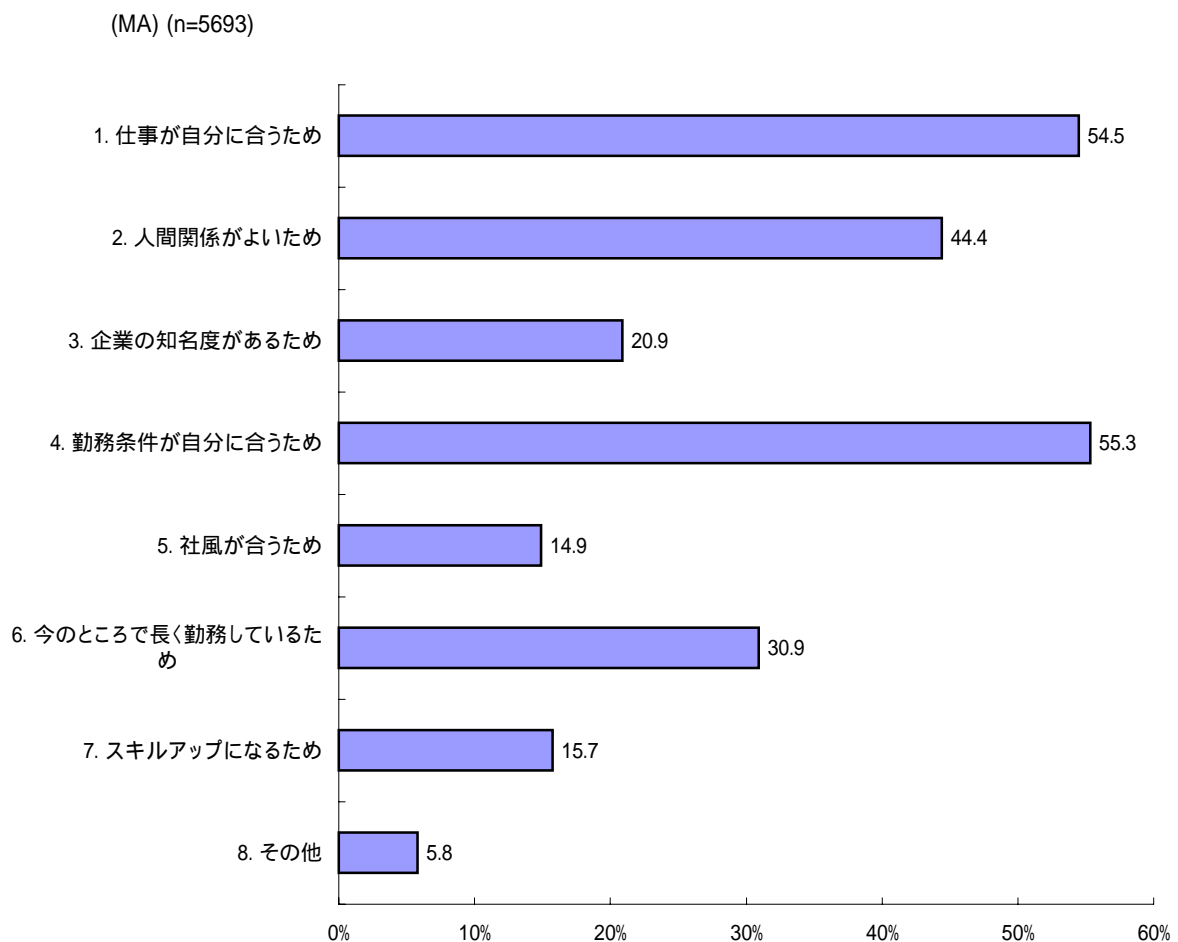
	調査数 (n)	全体	はい(現在または直近の就業先を希望)	いいえ(現在または直近の就業先以外を希望)
全体	12,947	100.0	44.0	56.0
派遣	4,144	100.0	62.1	37.9
紹介予定派遣	1,903	100.0	27.6	72.4
契約社員	772	100.0	46.8	53.2
正社員	5,520	100.0	36.3	63.7
パート・アルバイト	608	100.0	37.2	62.8



- (1) - a で 1 . を選択した方のみお答えください。  
(1) - a - a : その理由をお答えください。(複数選択可)

「はい(現在または直近の就業先を希望)」との回答者に、その理由(複数回答)を尋ねた結果、「勤務条件が自分に合うため」が最も多く55.3%、次に「仕事が自分に合うため」(54.5%)、続いて「人間関係がよいため」(44.4%)である。

「現在の就業先を希望する回答者」は、上記の3つの理由をあげて、理由が共通化し、特定している。

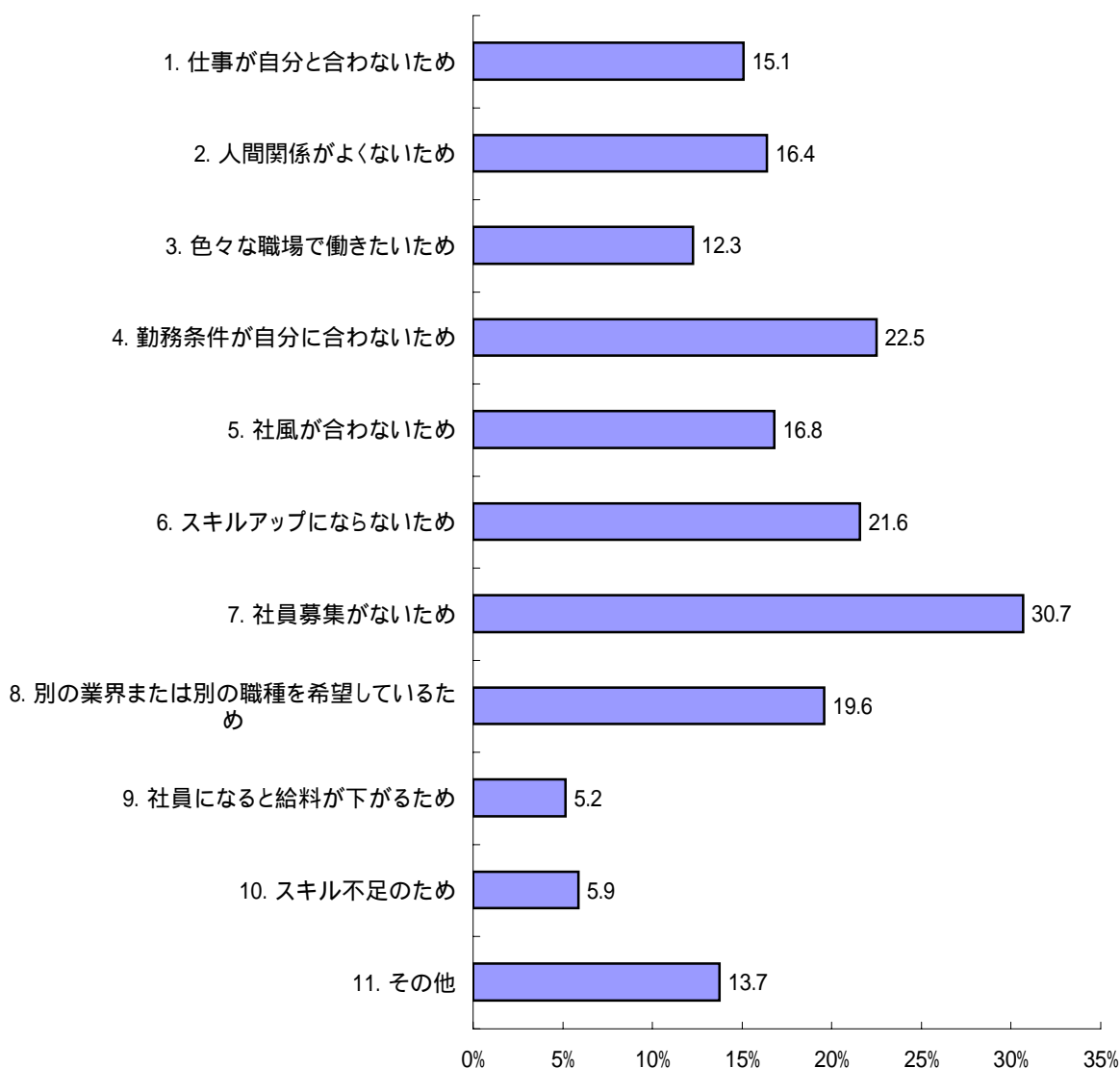


- (1) - aで2.を選択した方のみお答えください。  
(1) - a - b:その理由をお答えください。(複数選択可)

「いいえ(現在または直近の就業先以外を希望)」との回答者に、その理由(複数回答)を尋ねた結果、「社員募集がないため」が最も多く30.7%、次に「勤務条件が自分に合わないため」(22.5%)、続いて「スキルアップにならないため」(21.6%)である。

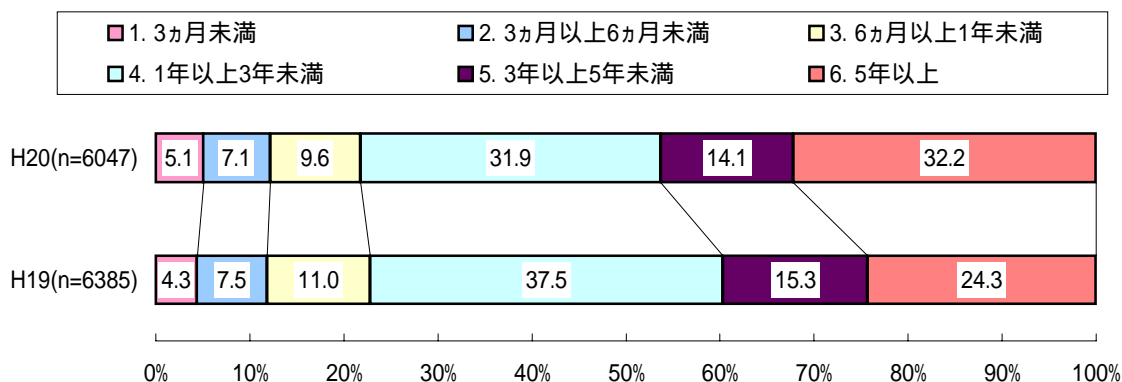
「現在の就業先以外を希望」する場合は、「現在の就業先を希望」と比べて、回答選択肢が多いこともあるかもしれないが、理由が分散している。唯一「社員募集がないため」の割合が他より高い。

(MA) (n=7254)



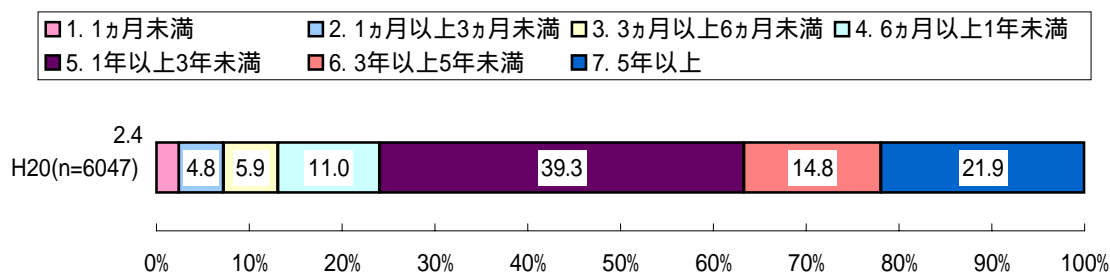
(1)で 1.派遣 2.紹介予定派遣を選択した方はお答えください。  
 (1) - b : どのくらいの期間、派遣で働きたいと思いますか？(トータルで)

働き方の希望で「派遣」「紹介予定派遣」との回答者に、どのくらい派遣で働くことを希望するかを尋ねた結果、「1年以上3年未満」が最も多く31.9%、次に「5年以上」(32.2%)、「3年以上5年未満」(14.1%)である。  
 集約すると、「1年未満」が21.8%、「1年以上」が78.2%を占める。「3年以上」は46.3%を占める。  
 前回と比べて、「1年以上3年未満」が減少し、「5年以上」の割合がかなり増加しており、長期に就業したいという希望がうかがえる。



(1) - b - a : 同一の就業先では、どのくらいの期間、派遣で働きたいと思いますか？(トータルで)  
 今回新設した設問

働き方の希望で「派遣」「紹介予定派遣」との回答者に、同じ就業先でどのくらい派遣で働くことを希望するかを尋ねた結果、「1年以上3年未満」が最も多く39.3%、次に「5年以上」(21.9%)、続いて「3年以上5年未満」(14.8%)である。  
 集約すると、「1年未満」が24.0%、「1年以上」が76.0%を占める。「3年以上」は36.7%を占める。逆に「3年未満」は63.3%を占める。

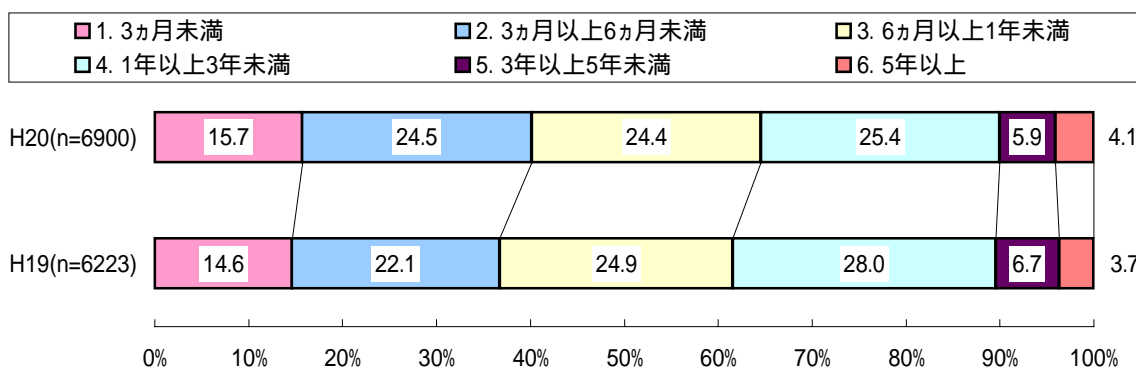


- (1)で 3. 契約社員 4. 正社員 5. パート・アルバイトを選択した方はお答えください。  
 (1) - c: 希望する働き方に移行するまでの派遣で働ける期間として、適切と考える期間はどのくらいですか？

働き方の希望で「契約社員」「正社員」「パート・アルバイト」との回答者に、希望する働き方に移行するまでの派遣で働ける期間として、適切と考える期間はどのくらいかを尋ねた結果、「1年以上3年未満」が最も多く25.4%、次に「3ヵ月以上6ヵ月未満」(24.5%)、続いて「6ヵ月以上1年未満」(24.4%)である。

前回と比べて、ほぼ変わらない。

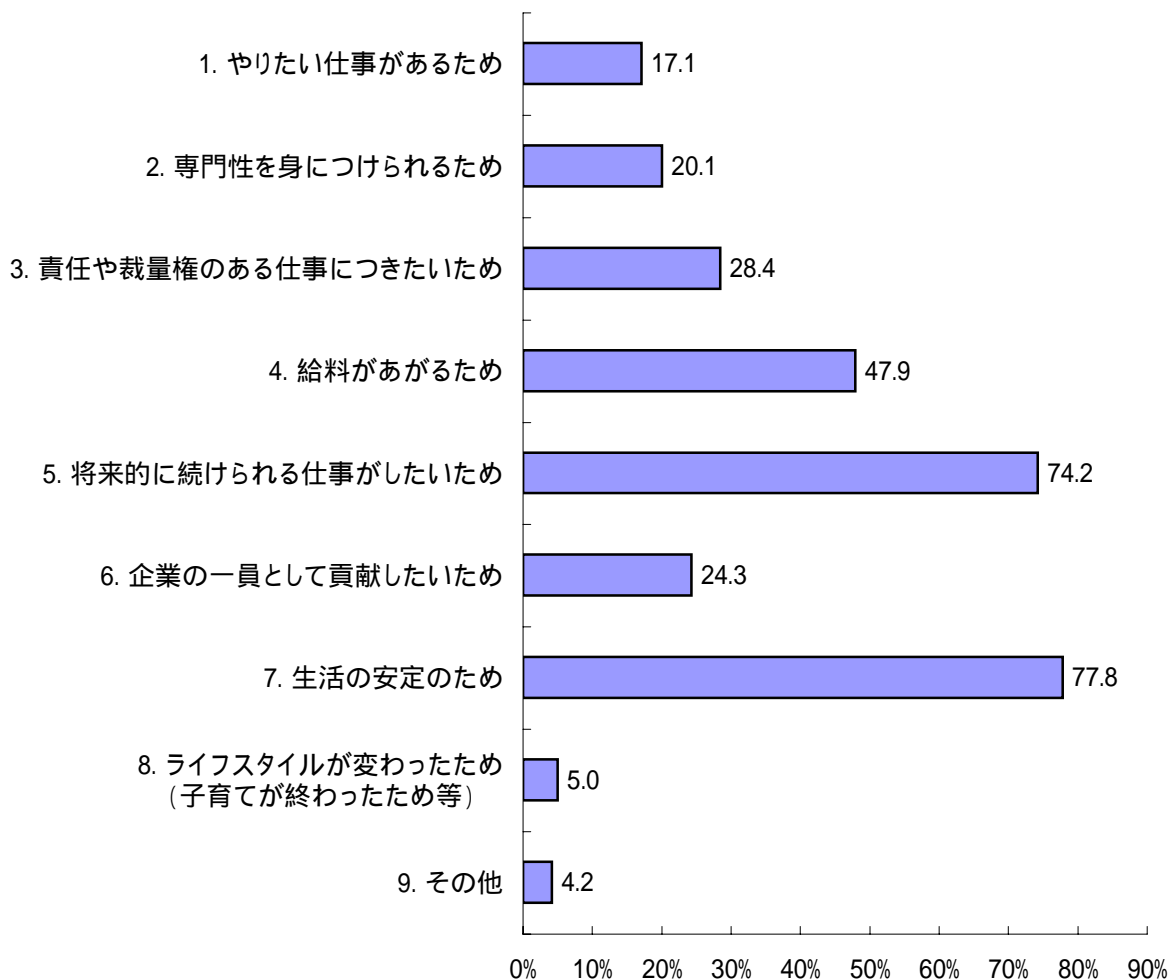
集約すると、「6ヵ月未満」が40.2%、「6ヵ月以上」が59.8%、「1年以上」が35.4%を占める。6ヵ月以上の派遣就労を考えている人にはその間の支援が必要となり、長い派遣就労を考えている人達には具体的なコンサルティングが要請される。



(1)で 4 . 正社員を選択した方はお答えください。  
(1) - d : なぜ、正社員を希望しますか？(複数回答可)  
今回新設した設問

働き方の希望で「正社員」との回答者に、正社員を希望する理由を尋ねた結果、「生活の安定のため」が最も多く77.8%、次に「将来的に続けられる仕事がしたいため」(74.2%)、続いて「給料があがるため」(47.9%)である。

(MA) (n=5520)



「働き方の希望についての回答者」に関して「性別・年齢・独身既婚の回答者属性」で詳しく見ると、性別・年齢・独身既婚に関係なく「正社員」を希望する割合は「派遣」より高い。しかし、女性の「50歳以上」と「既婚」は「派遣」を希望する割合が高い。男性では「19歳以下」と「50歳以上」を除き、圧倒的に「正社員」を希望する割合が多くなる。希望する数は少ないが、男性は年齢が上がるにつれて、「派遣」を希望する割合が高くなっている。

		調査数 (n)	全体	派遣	紹介予定派遣	契約社員	正社員	パート・アルバイト	自営・独立	働くつもりはない
全体		13,936	100.0	29.7	13.7	5.5	39.6	4.4	6.5	0.6
女性全体		12,375	100.0	31.9	14.3	5.5	37.9	4.5	5.5	0.5
男性全体		1,561	100.0	12.6	8.8	5.9	53.2	3.2	15.1	1.2
女性	19歳以下	28	100.0	17.9	3.6	3.6	35.7	28.6	7.1	3.6
(年齢別)	20～24歳	404	100.0	21.8	13.6	2.2	47.3	8.2	6.2	0.7
	25～29歳	2,006	100.0	30.8	15.9	4.2	41.6	3.3	3.7	0.5
	30～34歳	3,279	100.0	32.9	16.8	4.6	37.1	3.3	5.0	0.5
	35～39歳	3,137	100.0	32.5	14.9	5.5	38.3	3.2	5.5	0.3
	40～49歳	2,989	100.0	31.1	11.4	6.9	37.6	6.0	6.5	0.5
	50歳以上	532	100.0	39.3	6.4	11.1	21.6	12.0	8.5	1.1
男性	19歳以下	11	100.0	18.2	9.1	-	27.3	45.5	-	-
(年齢別)	20～24歳	113	100.0	8.8	5.3	1.8	67.3	6.2	10.6	-
	25～29歳	224	100.0	6.3	10.3	1.8	68.3	1.3	10.7	1.3
	30～34歳	310	100.0	9.4	11.9	0.6	61.9	1.0	14.5	0.6
	35～39歳	250	100.0	10.8	10.0	2.0	56.0	2.0	19.2	-
	40～49歳	371	100.0	12.7	9.4	5.4	52.3	1.3	18.3	0.5
	50歳以上	282	100.0	24.1	3.5	20.9	25.9	7.8	13.5	4.3
独身(単身)		4,163	100.0	23.1	15.3	5.1	46.7	1.8	7.6	0.4
独身(家族同居)		4,169	100.0	24.4	16.5	5.1	45.3	2.2	6.1	0.4
既婚		5,604	100.0	38.6	10.3	6.2	30.1	7.9	6.1	0.9

「働き方の希望についての回答者」を「現在（または直近）の就業先において通算した就業期間（Q2(9)）」とクロスさせると、「派遣を希望する回答者」は通算就業期間に関係なく、平均的に分布している。「正社員を希望する回答者」は通算就業期間が1年以上になると平均値を超え、期間が長くなると割合が高くなっている。

通算就業期間  
P16 Q2(9)

	調査数 (n)	全体	派遣	紹介予定派遣	契約社員	正社員	パート・アルバイト	自営・独立	働くつもりはない
全体	13,936	100.0	29.7	13.7	5.5	39.6	4.4	6.5	0.6
6ヵ月未満	4,649	100.0	29.6	12.8	5.1	37.4	6.8	7.9	0.5
6ヵ月以上1年未満	2,353	100.0	31.1	14.3	5.8	37.7	3.9	6.5	0.7
1年以上2年未満	2,715	100.0	28.2	15.8	5.7	41.0	2.8	6.1	0.5
2年以上3年未満	1,589	100.0	28.4	14.5	5.5	42.2	3.2	5.8	0.5
3年以上5年未満	1,402	100.0	30.9	13.8	5.4	41.3	3.1	4.9	0.7
5年以上10年未満	1,006	100.0	31.4	11.3	6.8	43.0	2.2	4.8	0.5
10年以上	222	100.0	32.4	3.6	6.8	45.0	3.6	8.6	-